

LIMLIGHT

取扱説明書

32V型地上デジタル液晶テレビ

品番: WRH-32T



ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。テレビを安全に正しくお使いください。お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。

ウィンコド株式会社

〒465-0025愛知県名古屋市名東区上社2丁目186番地 新東名ビル101

TEL: 050-3609-2666 FAX: 050-3609-2668

受付時間: 平日10時~17時 (土日祝日年末年始等は除く)

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約再生

外部機器と接続

設定と調整

その他

目次

はじめに

目次	1
付属品を確認する	2
受信できる放送種類	2
ご使用上の注意	3
各部の名称と機能	6
リモコンのボタンと機能	7
リモコンの準備と使い方	8

準備と接続

スタンドの取り付け方	9
アンテナとACアダプターをつなぐ	9
mini B-CASカードを入れる	
mini B-CASカード使用注意事項	10
mini B-CASカードカバーをセットする	10
mini B-CASカードについて	10

インターネットを利用する為の接続をする

接続のしかた	11
--------	----

初期設定

かんたん設定	12
再度かんたん設定を行います	13

アンテナの設定と調整

アンテナ設定	13
アンテナを調整するとき	13

ネットワークを設定する

有線LANの設定	14
ネット情報表示	14

ハードディスクの接続と設定

接続のしかた	15
新しいハードディスク登録と初期化	15
USBハードディスクの設定をする	15
録画機器を選択する	16
ハードディスクの情報表示	17
機器の取りはずし	17

テレビを見る

基本的な使いかた	18
3桁入力での選局	19
字幕表示	19
外部入力画面切替	19
地デジ放送に切り換える	19
チャンネル情報を見る	19

デジタル放送の便利な機能を使う

番組情報を見る	20
他の音声切替	20
自動で電源を切れるようにする	20
暗証番号を設定する	20
番組の視聴を制限する	21
画面サイズを切り換える	21
省エネ設定	21

データ放送を楽しむ

連動データ放送を楽しむ	22
-------------	----

番組表を使う

番組表の見かた	23
見たい番組を見る	23
番組表で番組説明を見る	23

番組表を便利に使う

予約リストに切り換える	24
番組表のメニュー	24
ジャンルを絞りこんで番組表を探す	25

録画/予約/再生

録画・予約機能について	26
USBハードディスクについて	26
録画・予約の種類	26
見ている番組を直接録画する	27
録画停止	27
番組表で録画/視聴予約をする	28
録画予約ができない場合	28
番組検索で録画・予約をする	29
日時を指定して録画・予約をする	30
予約の確認・取消しをする	
予約の確認・変更・取消し	31
録画予約と視聴予約の優先順位	31
録画した番組を再生する	
再生の基本操作	32
再生時のリモコン操作	33
録画した番組を保護する	33
繰返し再生の設定を変える	33
録画した番組を削除する	33

外部機器と接続

接続のしかた	34
HDMIケーブルで接続する	35
パソコンを接続する	35
ビデオ(AVケーブル)で接続する	35
USBハードディスクを接続する	35

設定と調整

映像設定	
お好みの映像を設定する	36
音声設定	
お好みの音声を設定する	37
機能設定	
画面サイズ切替	38
省エネ設定	38
ネット設定	38
ハードディスク	38
各種設定(個人情報)	
都道府県設定	39
郵便番号設定	39
暗証番号設定	39
視聴制限設定	40
メール表示	40
設定リセット	40

各種設定(機器設定)

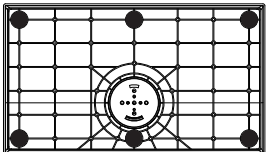
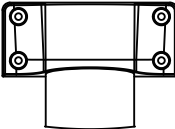


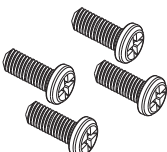
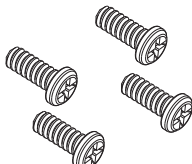

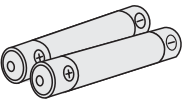


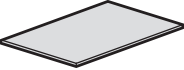
字幕設定	40
初期スキャン	41
再スキャン	41
アンテナ設定	41
スキップ設定	41
プリセット設定	42
ダウンロード	42
ID表示	42
各種設定(B-CASカード情報)	42
各種設定(工場出荷時リセット)	42

その他

故障かな?!と思ったら	43
エラーメッセージ一覧	45
その他の情報	48
主な仕様	49
メモ	51

付属品を確認する

すべて入っているかご確認ください。

<p>① スタンドプレート.. 1個</p> 	<p>② スタンドネック.. 1個</p> 	<p>③ スタンド回転固定シム.. 1枚</p> 
<p>④ スタンド回転シム.. 2枚</p>  <p>A B</p>	<p>⑤ BM4×12ネジ.. 4本</p> 	<p>⑥ BBM4×12ネジ.. 4本</p> 
<p>⑦ mini B-CASカード.. 1枚</p> 	<p>⑧ 単4形電池.. 2個(動作確認用)</p> 	<p>⑨ リモコン.. 1個</p> 
<p>⑩ 保証書.. 1枚</p> 	<p>⑪ 取扱説明書.. 1部</p> 	

受信できる放送種類

本機は地上デジタル放送を受信することができます。アナログ放送は受信できません。

地上デジタル

2003年12月から関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で開始され、2006年末までにその他の都道府県の県庁所在地で開始された、地上波のUHF帯を使用したデジタル放送です。(移動体受信・部分受信サービスに対応車や電車などでの移動体受信サービスや携帯電話などで受信できる部分受信サービスも予約されています。)

- これまでの地上アナログ放送と比べて、以下の特徴があります。
 - デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質放送(MPEG-2 PCM/AAC 方式)
 - 高音質放送、マルチチャンネルのサラウンド放送
 - ゴーストのない鮮明な映像
 - 電子番組表(EPG)

放送電波で送られる番組情報で画面に番組表を表示させ、視聴番組を選んだり録画予約をしたりすることができます。

- 天気予報や番組案内などのデータ放送、番組に連動したデータ放送、視聴者参加型の双方向サービス
通常の番組に加えて、地域に密着したニュースや天気予報などのデータ放送があります。また、双方向サービスによるオンラインショッピングや、視聴者参加型のクイズ番組などもあります。

- 受信にはUHFアンテナを使用します。
従来のUHF放送受信に使用していたUHFアンテナをそのまま使用できる場合と、交換または調整が必要な場合があります。

- 本機は「CATVパススルー対応」です。
ケーブルテレビ局が再送信する地上デジタル放送を受信することができます。
※本機では、部分受信サービスは受信できません。(ワンセグ放送は受信できません。)

地上デジタル対応
UHFアンテナ





ご使用上の注意

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとはいつでも見られる所に必ず保管してください。











絵表示について

この「ご使用上の注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

				
禁止の行為であることを告げるものです。	注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	絶対に分解や修理はしない	絶対に触れない
				
必ず電源プラグをコンセントから抜く	絶対にぬれた手で触れない	絶対に水にぬらさない	絶対に浴室やシャワー室では使用しない	高圧注意 (本体背面に表示)

 警告		万一、煙が出ている、異臭や異音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください	 電源コードを抜く
■風呂場では使用しない また、水などのかけないでください。 火災・感電の原因になります。	 水ぬれ禁止	■お客様自身による修理・改造はしない 感電の原因になります。内部の点検・修理は販売店または弊社にご依頼ください。	 分解禁止
■この機器を水にぬらさない 火災・感電の原因になります。 雨天・降雪中・海岸・水辺では使用しないでください。	 絶対に水にぬらさない	■電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用しない そのまま使用すると火災・感電の原因になります。	 指示
■この機器を改造しない 火災・感電の原因になります。	 分解禁止	■ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。	 禁止
■電源コードを傷つけたり、破損させない。 また、重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。	 禁止	■万一、異物が機器の内部に入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または弊社に連絡する そのまま使用すると火災・感電の原因になります。	 禁止

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約再生


外部機器と接続

設定と調整

その他

ご使用上の注意(つづき)





はじめに
準備と接続
テレビを見る
録画予約再生
外部機器と接続
設定と調整
その他

 警告	
<p>■ 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、販売店または弊社に連絡する そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。</p>	<p>■ 表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない 火災・感電の原因になります。</p>
<p>■ この機器の開口部から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしない。 火災・感電の原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p>	<p>■ 万一、内部に水などが入った場合は電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店または弊社に連絡する そのまま使用すると火災・感電の原因になります。</p>
<p>■ この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因になります。</p>	<p>■ この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く</p>

 注意	
<p>■ 本体を落としたり、衝撃を与えない 故障・火災・感電の原因になります。</p>	<p>■ 次のような使い方はしない ・本体を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む。 ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。</p>
<p>■ 濡れた手で電源コードを抜き差ししない 感電の原因になります。 絶対に触れない</p>	<p>■ キャビネットなど閉めきったところに入れて使うときは、換気のため本機の周り約3cm以上空ける</p>
<p>■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない 電源コードが傷つき、感電の原因になります。 必ず電源プラグを持って抜いてください。</p>	<p>■ この機器に乗らない 倒れたり、こわれたりしてけがの原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p>
<p>■ 湿気やほこりの多い場所に置かない 火災・感電の原因になります。 絶対に水にぬらさない</p>	<p>■ 万一、この機器を落としたり、破損した場合は電源を切り、販売店または弊社に連絡する そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。</p>
<p>■ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かない 火災・感電の原因になります。 絶対に水にぬらさない</p>	<p>■ 電源コードを熱器具に近づけない 電源コードの被覆が溶けて、 火災・感電の原因になります。</p>
<p>■ 夏期の直射日光の当たる所や、熱器具の近くなど高温になるところに放置しない 機器に障害を与え、火災・感電の原因になります。</p>	<p>■ 電源コードをコンセントから抜く</p>

ご使用上の注意(つづき)

電池についての安全上のご注意

 警告		■ 電池が液漏れしたときは素手でさわらない ・漏れた液が目に入ると、失明の恐れがあります。 ・皮膚に付着した場合は、炎症など傷害を負う可能性があります。 ⇒炎症などの症状が出た場合は、ただちに医師に相談してください。	 禁止
■ 電池は乳幼児の手の届く所に置かない ・電池を飲み込むと、窒息することがあります。また消化器内に留まると潰瘍などの原因となり大変危険です。飲み込んだときには、ただちに医師に相談してください。	 禁止		
 注意		■ 電池は正しい向きに入れる 電池の発熱事故や破裂、液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。	 指示
■ 電池(電池パック或いは電池セット)は直射日光の当たる場所やストーブのそばなどの高温の場所に置かないで下さい。	 禁止	■ 指定以外の電池を使わない 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。	 禁止
■ 電池を加熱したり、火の中に投入しない 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。	 禁止	■ 電池は分解しない 電池の発熱事故や破裂、液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。	 禁止
■ 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない 電池の発熱事故や破裂、液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。	 禁止	■ 電池を使い切ったときや、長期間使わないときは電池を取り出す 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。	 指示

使用上のご注意とお願い

■ 取扱いについて

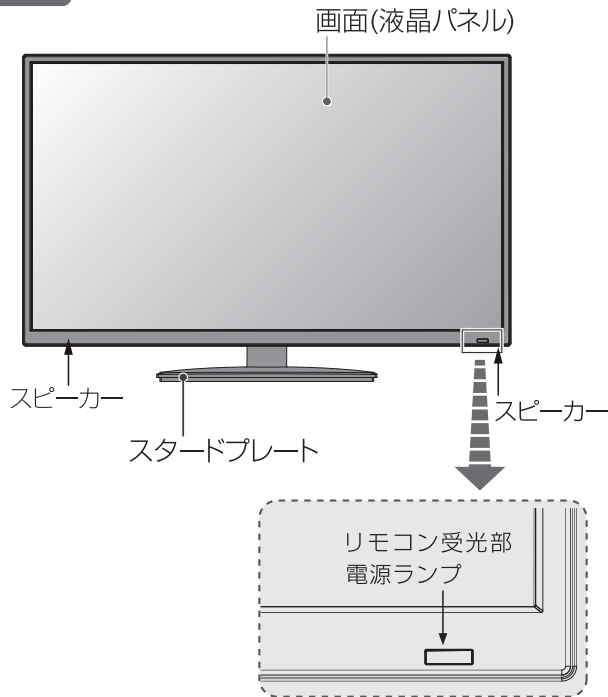
- 本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動をあたえないでください。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください。(番組情報を取得するためです。)
- 本機の近くにキャッシュカードなどの磁気カードやビデオテープなどを置かないでください。本機から出る磁気の影響でデータや録画内容などが損なわれる可能性があります。
- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 外部入力(ビデオ入力1、HDMI入力1、2)の映像や音声には若干の遅れが生じます。以下の場合にはこの遅れによる違和感を感じることがあります。
 - ・ゲーム、カラオケなどを接続して楽しむ場合
 - ・DVDやビデオなどの音声を直接オーディオ機器に接続して視聴する場合

■ 免責事項について

- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 録画・録音機器に正しく記録(録画、録音など)できなかった内容または変化・消失した内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 他の接続機器との組合せによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害(録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。
- 故障・修理のときなどに、データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

各部の名称と機能

前面



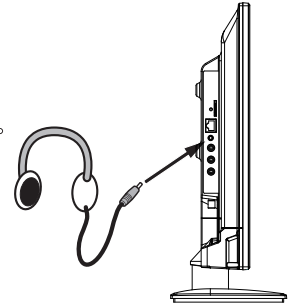
電源ランプ

赤点灯	待機状態
橙点灯	機能待機 (EPGなどを取得するため)
緑点灯	録画中
緑点灯	起動状態
赤点滅	DL (ダウンロード) 実行中

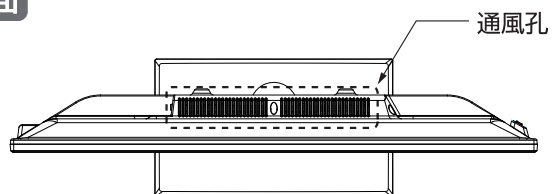
側面

◎ヘッドホンを使用するときには

- テレビ背面にある「ヘッドホン出力端子」へ直径3.5mmステレオミニプラグを挿入してください。
- ヘッドホン出力端子を使用している時は、テレビ本体のスピーカーから音声は出力されません。ヘッドホンの音量は、本体やリモコンにある「音量」ボタンで調節できます。
- ヘッドホン出力端子から抜き差しするときは、音量を小さくしてください。突然大きな音が出てしまうことがあります。



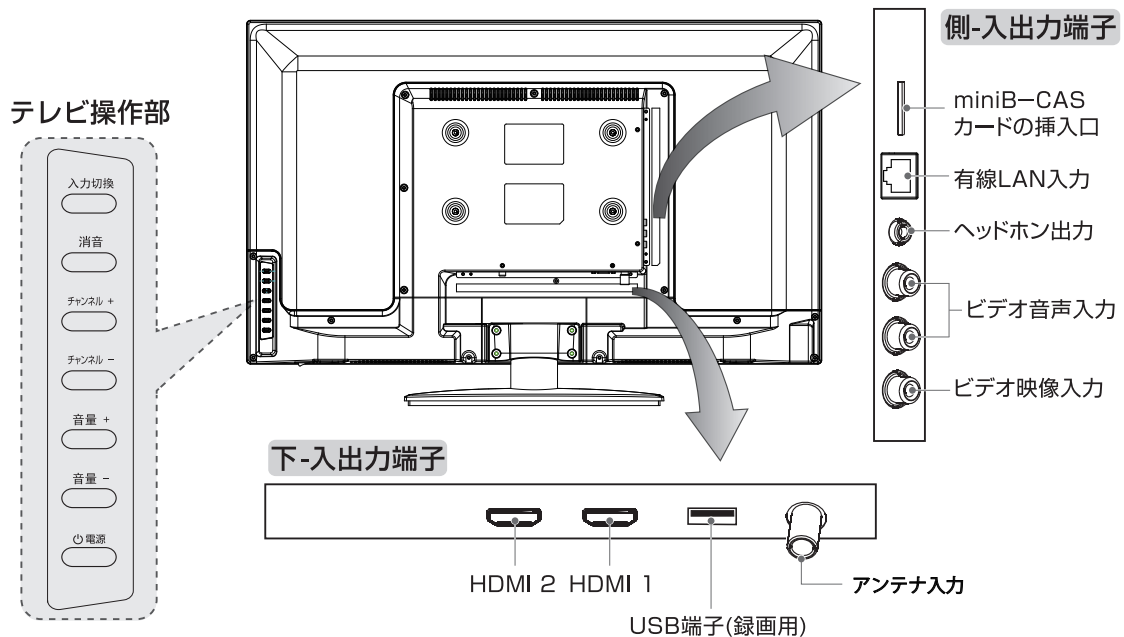
上面



■通風孔を塞がない

本体にある開口部は換気用です。過熱を防ぐため、通風孔を塞がないでください。テーブルクロス・カーテンなどを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。

背面



※入力切換ボタンについて

本体の入力切換ボタンを繰り返し押すことで、右のように入力を切り換えます。リモコンの入力切換ボタンと動作が違いますのでご注意ください。

地デジ → ビデオ → HDMI 1 → HDMI 2

リモコンのボタンと機能

ご注意:本取扱説明書に掲載している画面表示は説明のものであり、実際の表示とは多少異なります。

1. 電源

- ・電源を入/切します

2. 消音

- ・消音入/切します

3. 数字ボタン

- ・チャンネル選局時に番号を入力します
- ・チャンネルを選びます(ワンタッチ選局)

4. 地デジ

- ・地上波放送に切り換えます

5. オフタイマー

- ・オートオフ時間設定機能

6. 省エネ

- ・省電力モードの設定

7. 音量[+]/[-]

- ・音量を調節します

8. チャンネル[▲]/[▼]

- ・チャンネルを選びます(順次選局)

9. 入力切換

- ・外部入力を切り換えます

10. 画面表示

- ・チャンネルの情報を表示

11. 番組表

- ・番組表の画面に切り換えます

12. 3桁入力

- ・チャンネル選局時に番号を入力します

13. dデータ

- ・データ放送の画面に切り換えます

14. ▲▼◀▶

- ・上下左右にカーソルを移動します

15. 決定

- ・決定する時に押します

16. メニュー

- ・設定メニューに切り換えます

17. 戻る

- ・前の項目に戻る時に押します

18. 青/赤/緑/黄

- ・番組表やデータ放送画面で使用します
- ・多様な用途があります

19. 番組情報

- ・番組の詳細情報を表示

20. 録画リスト

- ・録画リストの画面に切り換えます

21. 予約リスト

- ・予約リストの画面に切り換えます

22. 早戻し

- ・再生中の録画データの早戻しをします

23. 前へ

- ・前の録画データを再生します

24. 次へ

- ・次の録画データを再生します

25. 早送り

- ・再生中の録画データの早送りをします

26. 録画

- ・録画を開始する時に押します

27. 停止

- ・再生中の録画データの停止をします

28. 再生/一時停止

- ・録画データの再生/一時停止をします

29. 画面サイズ

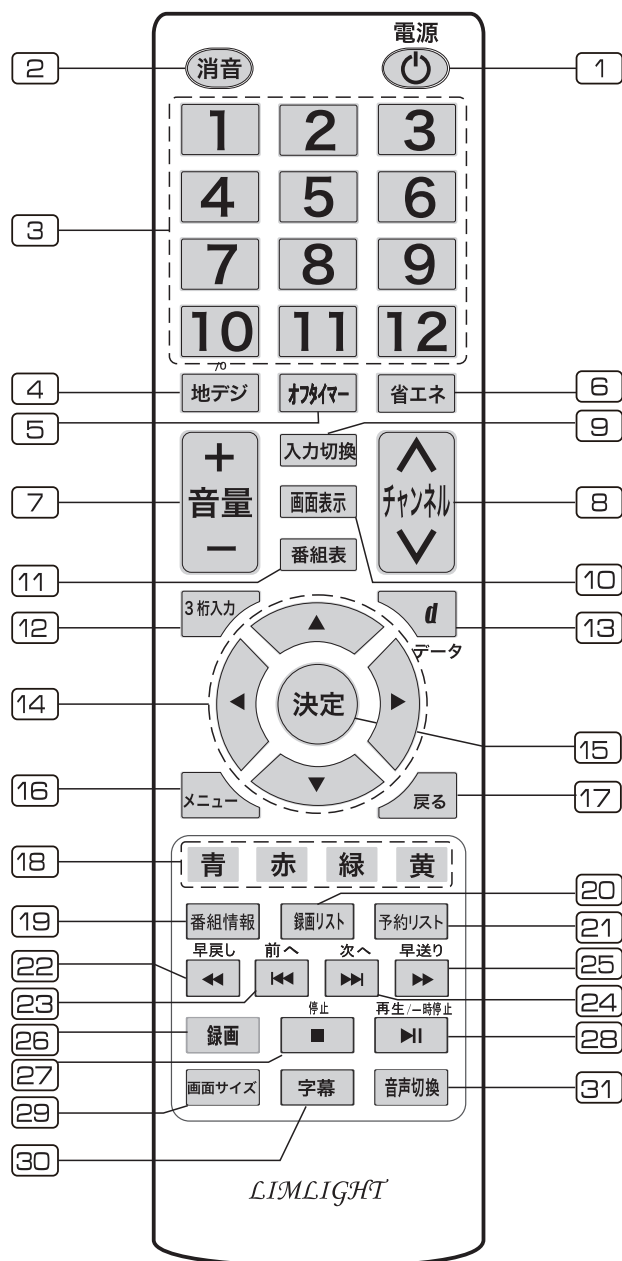
- ・画面サイズ切替機能

30. 字幕

- ・字幕表示を切り換えます

31. 音声切換

- ・音声を切り換えます



はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約再生

外部機器と接続

設定と調整

その他

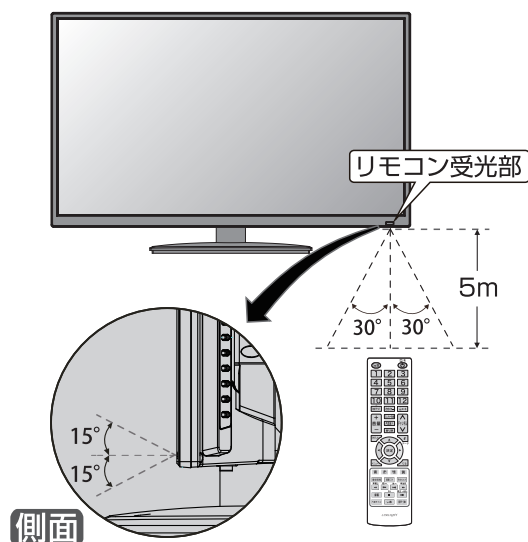
リモコンの準備と使い方

リモコン使用上のご注意

- リモコンは本体の受光部に向けて操作してください。
- 水に濡らしたり湿度の高いところに置いたりしないでください。
- 分解しないでください。
- リモコンに衝撃を与えないでください。
- 付属の単4形乾電池は動作確認用のものです。

リモコンに使用している乾電池は

- 指定以外の乾電池(マンガン電池など)は使用しないでください。
 - 極性表示“+”と“-”を間違えて挿入しないでください。
 - 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れてたりしないでください。
 - 表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないでください。
 - 種類の違う乾電池や新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。もれた液が目や口に入ったり、皮膚に付いたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
- 衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
器具に付いたときは、液に直接触れないでふき取ってください。



リモコンの受信範囲

右図のようにテレビのリモコン受光部から左右30度、上下15度以内の角度、距離5m以内で使用してください。角度がある状態で操作しようとすると信号が届かない場合があります。できるだけリモコン受光部正面から正対した状態でリモコン操作を行ってください。リモコンと受光部の間に障害物(置物、雑誌、壁、扉などの遮蔽物)があると信号が届きません。リモコンで操作できない場合は障害物を取り除いてください。

リモコンに乾電池を入れる

- ①矢印部分にあるツメを指で押しながら、上へ電池カバーを持ち上げてください。
- ②単4形乾電池のプラス(+)とマイナス(-)を間違えないように入れてください。
- ③指で押さえるツメと反対側にある電池カバーを留めるツメを、リモコン本体側に引っ掛けるようにして元どおりに閉めてください。

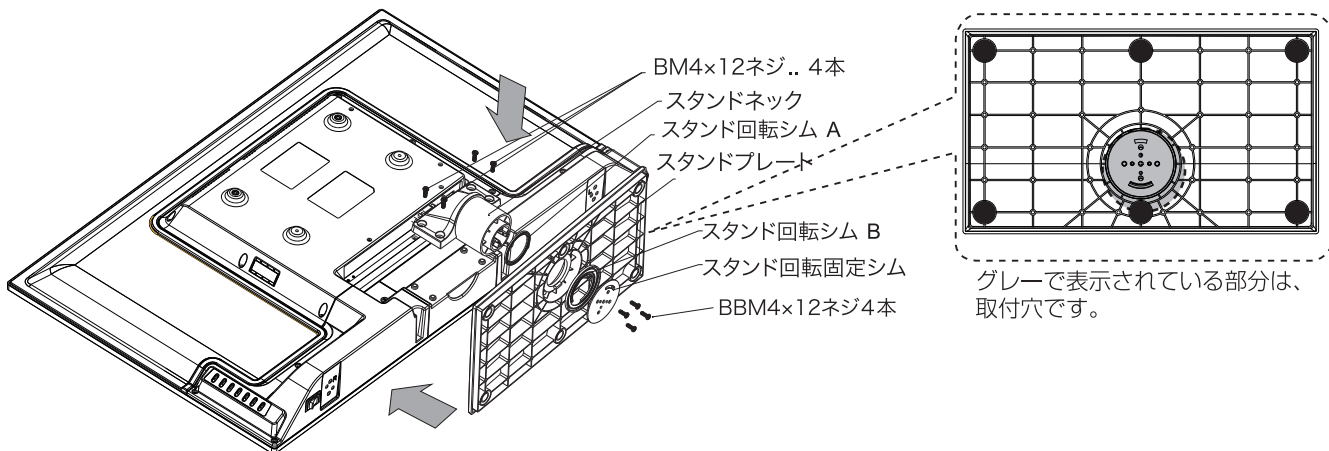
乾電池の入れかた

※付属の単4形乾電池2本は動作確認用です。ご使用になる場合は新しい乾電池をご用意ください。



スタンドの取り付け方

スタンドプレートスタンドヘッド取り付け部に合わせて差し込み、ネジでスタンドプレートをしっかりと固定してください。



※組み立て設置上の留意点:

- スタンドプレートを安全に正しく取り付けるために、マニュアルに従って、付属品のドライバーを使用してください。
- スタンドプレートを取り付けるとき、ネジ穴の緩みや破損などを防ぐため、電動ドライバーなどは使用しないでください。
- 液晶画面を傷つけないように、タオルや布などをひいて、組み立ててください。

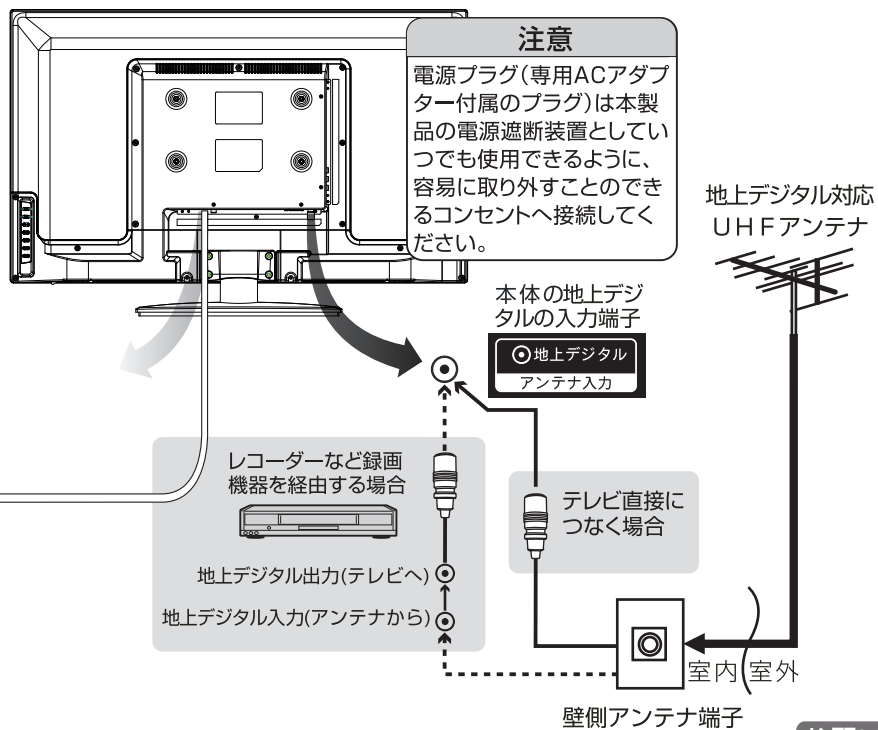
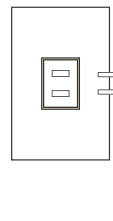
アンテナと電源をつなぐ

● アンテナ線の接続方法はアンテナ線の形状によって異なります。下図を参照して接続してください。

■ 電源プラグをコンセントに接続する

電源コードの先端のプラグをコンセントに差し込みます。本体の電源ランプが赤色に点灯しますので本体にある電源ボタン、もしくはリモコンの電源ボタンを使って電源をオンにします。

壁等のコンセント



- アンテナ工事には専門的な知識と技術が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- アンテナ線を接続するときは、必ずテレビ本体および接続機器の電源プラグを抜いてください。
- アンテナ線は必ず同軸ケーブルを使用してください。
- アンテナ線にデジタル機器を近づけないでください。
- ケーブルテレビに接続するときは、伝送方式や接続についてケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

お願い

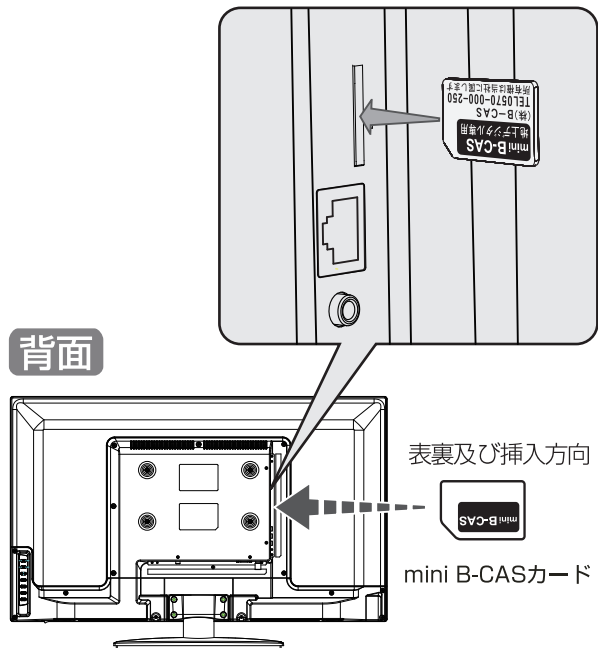
mini B-CAS カードを入れる

mini B-CASカード使用注意事項

- 破損させないでください。
- 金属端子部分には手を触れないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- 水をかけたり、ぬれた手で触ったりしないでください。
- デジタル放送を視聴中にmini B-CASカードを抜き差しすると故障の原因になるのでおやめください。
- mini B-CASカードを抜くときは、テレビ本体の電源プラグを抜き、ゆっくりと引き出してください。

- mini B-CASカードを挿入する時は、下記の手順で行ってください。

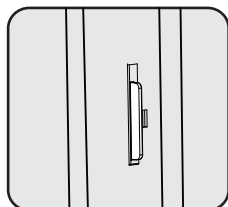
- ① 表裏及び挿入方向をよく確認し、カチッと音がするまで確実に挿入してください。（挿入方向を間違えるとデジタル放送は視聴できません。）
- ② mini B-CASカード(付属品)を図のように差し込みます。



※テレビ本体のB-CASカードスロットに、図の方向で挿入します。（奥まで確実に挿入してください。）

- mini B-CASカードを取り外すときは、下記の手順で行ってください。

- ① テレビ本体の電源プラグを抜く
- ② mini B-CASカードを軽く押し込む
- ③ 指を離すとmini B-CASカードの端が少し飛び出す
- ④ 端をつまんで引き抜く



mini B-CASカードについて

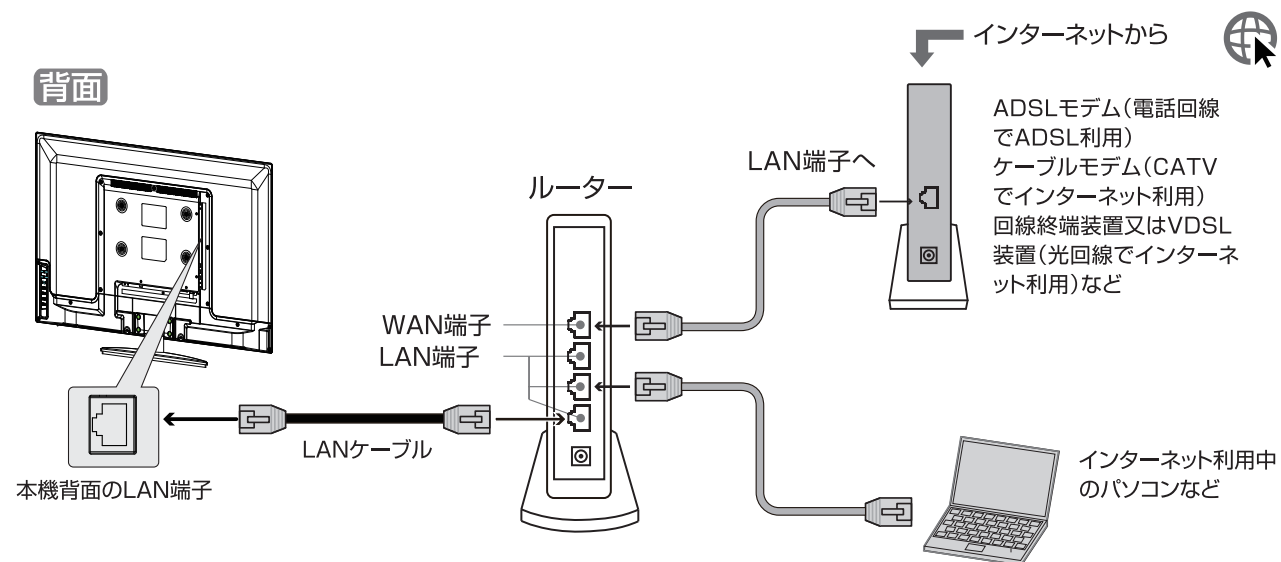
- 地上デジタル放送を視聴するために本製品に付属されているmini B-CASカードをご使用ください。
- mini B-CASカードは本製品の付属品として、使用許諾契約約款が記載された台紙に添付されています。
- mini B-CASカードの所有権は（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズに帰属します。
- 開封すると使用許諾契約約款に同意したとみなされますので、開封前に使用許諾契約約款をよくお読みください。
- mini B-CASカードの保証期間は、本製品のお客様へのお引き渡し完了日から3年間です。詳しくは、mini B-CASカード使用許諾契約約款をご覧ください。
- 保証期間後にmini B-CASカードを交換する場合は、カード発行費用がかかります。
- mini B-CASカードのIDナンバーは、画面上で確認できます。
- mini B-CASカードを損壊、紛失した場合、B-CASカスタマーセンターまでご連絡ください。

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
B-CASカスタマーセンター
TEL:0570-000-250

インターネットを利用する為の接続をする

接続のしかた

データ放送の双方向サービスを利用すると、ショッピングやクイズ番組への参加が楽しめます。
※本機は電話回線を利用した双方向サービスは対応していません。



ご注意： LANケーブルを抜き差しする場合、本機と接続機器の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- はじめてインターネットを利用する場合、プロバイダー(ネット接続業者)か通信事業者と契約する必要があります。詳しくは通信事業者もしくは家電量販店などにご相談ください。
- 接続完了後、必要に応じて「ネットワーク設定」を行ってください。
- すでにインターネットをご利用の場合、ルーターLAN端子と本機のLAN端子をLANケーブルで接続してください。「ネットワーク設定」は必要ありません。
- モデムとルーターが一体化されていることもありますので、それぞれの取扱説明書をよくお読みください。

お知らせ

- ※ 本機でルーターやルーター内蔵モデムを設定することはできません。機器によってはパソコンなどで設定する必要があります。
- ※ 本機はISDN回線などでのインターネット及びダイヤルアップ通信を利用することはできません。
- ※ 取扱説明書に図示されていない機器を接続した場合、正常に通信できないことがあります。
- ※ ルーターなどが正しく設定されていない回線に本機のLAN端子を接続すると、正常に作動しないことがあります。

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約再生

外部機器と接続

設定と調整

その他

かんたん設定

- お買い上げ後、初めて電源を入れたとき、「かんたん設定案内」が表示されています。
- アンテナ線の接続を確認し、電源プラグ、mini B-CASカードなどが前述のページで説明された通り、正しくテレビに差し込まれていることを確認してください。

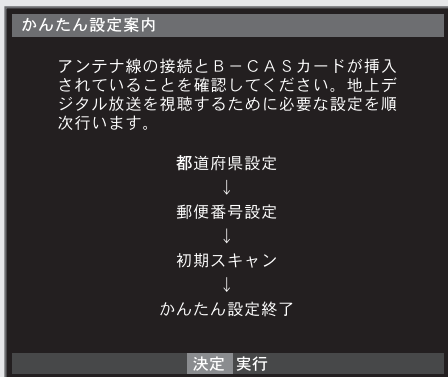
「かんたん設定」の流れ

1 電源を入れます

- ➡リモコンの電源ボタン、または本体の電源ボタンを押して電源を“オン”にします。オンの状態になると、本体の電源ランプが緑色に点灯します。
- ※電源が入っていない時は、本体の電源ランプが赤色に点灯します。

2 かんたん設定案内が表示されます。

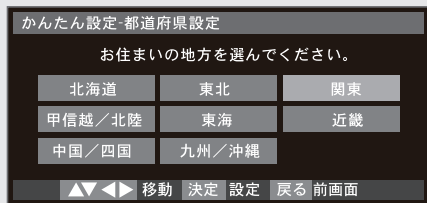
- ➡かんたん設定案内の表示画面で【決定】を押します。初期設定がはじまります。



「かんたん設定」の説明画面が表示されます。

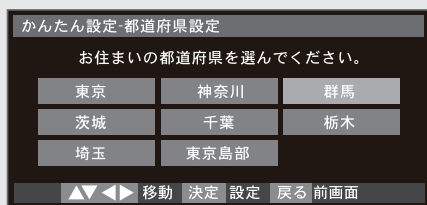
3 地方設定

- ➡お住まいの地方を▲▼◀▶で選び、【決定】を押します。



4 都道府県設定

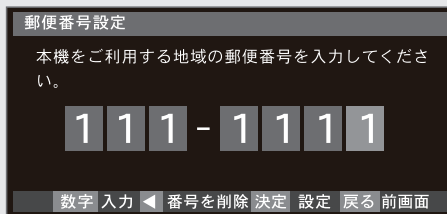
- ➡お住まいの都道府県を▲▼◀▶で選び、【決定】を押します。



5 地域の郵便番号設定

- ➡お住まいの地域の郵便番号を【1～10/0】数字ボタンで入力し、【決定】を押します。

メニュー操作手順の表記について

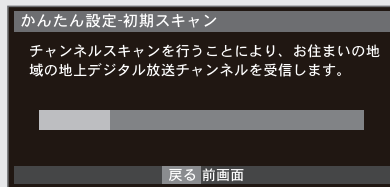
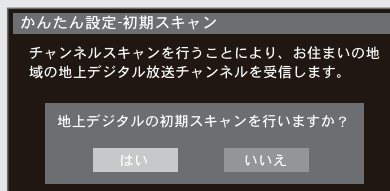


- 「1」～「10/0」で入力します。
- 間違えて入力したときは、◀でカーソルを戻してからもう一度入力します。

※お住まいの地域に密着したデータ放送(地域の天気予報やニュースなど)を視聴するための設定です。
 ※郵便番号を設定することで、地域が指定されます。

6 初期スキャン画面が表示されます

- ➡画面の説明を読み、◀▶で『はい』を選んで【決定】を押します。地上デジタル放送のチャンネルスキャンが自動的に始まります。終了するまでしばらくお待ちください。



スキャン中、進行状況を黄色いバーで表示します。

7 地上デジタル放送チャンネルの設定内容が表示されます

- ➡スキャン完了、画面に受信チャンネルリストが表示されます。スキャン結果を確認し【決定】を押します。もう一度スキャンを行う時は、【戻る】を押して⑥の初期スキャン設定から再度行います。

- スキャン中に放送波が見つかったとき、地域設定にてあわせた地域のチャンネル(放送波)をリモコンの数字ボタンへ自動設定します。

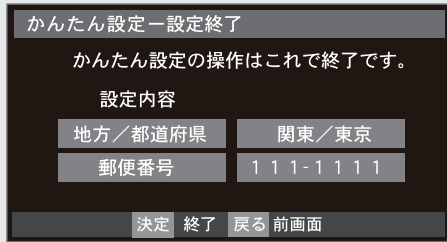
- 自動設定された内容を変更したい場合は、「プリセット設定」で設定しなおすことができます。(42ページ)

リモコン	チャンネル	放送局
(5)	051	テレビ朝日
	052	テレビ朝日
	053	テレビ朝日
(6)	061	TBS 1
	062	TBS 2

受信出来ない局がある場合は再スキャンをいで下さい。
 ▲ページ前 ▼ページ次 決定 次へ 戻る 前画面

8 設定完了

→設定完了の画面が表示されたら、内容を確認して、【決定】を押し、かんたんの設定を終了します。



設定しても放送が正しく映らない場合

本機とアンテナの接続が正しくない場合があります。以下のことを確認して、再度設定してください。

1 デジタル放送の受信方法を確認する

■屋外アンテナの場合
アンテナが地上デジタル対応のUHFアンテナ、またはVHF/UHFの混合アンテナになっているかどうか確認してください。詳しい内容は電気店かアンテナ設置業者にご相談ください。

■ケーブルテレビの場合
地上デジタル放送を視聴するために、ケーブルテレビ放送(CATV)やマンションなどの共聴システムをご利用の場合は、パススルー方式での地上デジタル放送受信に対応しているか、ご契約のケーブルテレビ会社や共聴システムの管理者にそれぞれお問い合わせください。

2 デジタル放送の受信強度の確認

受信強度の確認方法は「アンテナ設定と調整」をご参照ください。)

《地上デジタル受信度50%未満の場合》
電波が弱い電波傷害の可能性がありますので、お買い上げのお店、又はお近くの電気店にご相談ください。

《地上デジタル受信度50%以上の場合》
アンテナ線などの接続に間違いはありませんか？
ご確認の上、もう一度チャンネル設定を行ってください。

3 地デジアンテナ調整と設定

症状が改善されない場合は、アンテナの交換や方向調整が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談の上、13ページを参照して、アンテナレベルを確認しながらアンテナの方向を調整してください。

■ご確認の上、「かんたん設定」をやり直してください。

※引越しなどで受信地域が変わったときなどは、「かんたん設定」をやり直してください。

再度かんたん設定を行います

初めて「かんたん設定」設定後、再度設定を行う場合。

1【メニュー】を押し、「設定メニュー」を表示します。
▲▼と【決定】で、「各種設定」⇒「かんたん設定」の順に進みます。



※チャンネル設定について詳しくは、41ページをご覧ください。

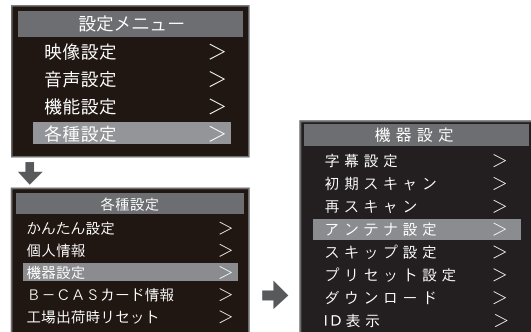
テレビが全く映らない、または画面が乱れるなどの場合は、以下の手順でアンテナレベル(電波の強さ)を確認してください。

※ 地上デジタル放送の場合、「かんたん設定」の手順7で、ワンタッチ選局ボタンにチャンネルが全く設定されなかった場合は以下の操作はできません。

アンテナ設定

受信レベルは信号品質を表します。高画質番組を楽しむためには、十分な受信レベル(目安60%)を確保する必要があります。

1【メニュー】を押し、▲▼で「各種設定」を選択し、【決定】を押します。▲▼と【決定】で、「機器設定」⇒「アンテナ設定」の順に進みます。



2 ◀▶で「放送チャンネル」を選びます。

⇒▶を押すたびに以下のように切り換わります。

VHF1~12 ⇄ UHF13~62 ⇄ MID-13~MID-22 ⇄ SHB-23~SHB-63



地上デジタル放送を受信できるアンテナレベルの目安は、60以上です。

- お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている放送チャンネルを選んでください。(お買い上げの販売店などにお聞きください)
- レベルの数値が推奨の数値以上になっているか確認してください。

アンテナを調整するとき

アンテナレベルが不足している場合は、「アンテナレベル」の画面を確認しながらアンテナの調整をしてください。

※高所での作業は危険です。アンテナの調整については、販売店にご相談ください。

アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整します。

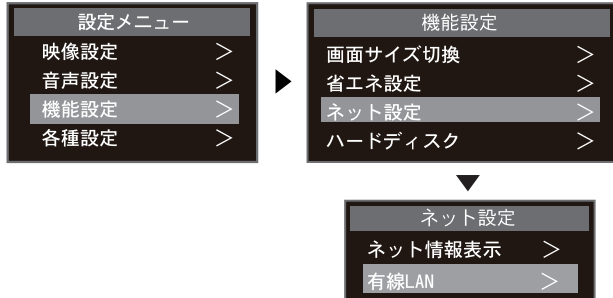
- 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認してください。

ネットワークを設定する

有線LANの設定

本機は、データ放送に対応しております。有線LAN端子が搭載されていますので、双方向番組サービス、連動データ放送がご利用できます。

- 1 【メニュー】を押し、▲▼で「機能設定」を選択し、【決定】を押します。同様に▲▼と【決定】で、「ネット設定」⇒「有線LAN」の順に進みます。



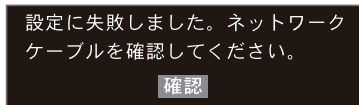
- 2 『有線LANの設定方法』の表示画面で「IPアドレス自動取得」設定項目の「自動取得」を◀▶で選びます。◀▶で「接続」を選び、【決定】を押します。



- 3 しばらくすると接続成功が表示されます。【決定】を押して設定終了です。



設定失敗のとき.....



※設定に失敗しました。ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。11ページをご参照ください。

手動で設定する場合

- 以上手順2には、IPアドレスの自動取得ができない場合、手動入力で設定します。
※必要に応じて設定してください。

- 1 ▲▼◀▶で「IPアドレス」を選び、【1~10/0】数字ボタンで番号を入力します。

- 2 そのほかの項目も同じように、【1~10/0】数字ボタンで番号を入力します。入力したら▲▼◀▶で「接続」を選び、【決定】を押して設定を完了します。



- 必要に応じて設定してください。

- 1 ◀▶で「手動入力」を選びます。
- 2 ▲▼で「IPアドレス」を選び、1~10(0)で入力します。
- 3 ▲▼で「サブネットマスク」を選び、1~10(0)で入力します。
- 4 ▲▼で「ゲートウェイ」を選び、1~10(0)で入力します。
 - ②~④では0~255の範囲の数字(左端の欄は0以外)を4箇所の欄に入力します。
 - 欄を移動するには、▶を押します。

IPアドレス設定

- インターネットに接続するために、本機に自動的に割り当てられる固有の番号を設定します。

DNS設定

- ドメイン名を自動的にIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。
※「IPアドレス自動取得」で「しない」を設定した場合、「DNSアドレス自動取得」も自動的に「しない」に設定され、「する」に変更することは出来ません。その場合は、DNSアドレスを手動で設定してください。

MACアドレス

- ネットワーク上に接続されている機器を識別するために本機に割り当てられている番号です。
- MACアドレスの確認が終わったら、【決定/戻る】ボタンを押してメニュー画面を終了してください。

ネット情報表示

現在使用のネット情報を表示します。

- 1 【メニュー】を押し、▲▼で「機能設定」を選択し、【決定】を押します。同様に▲▼と【決定】で、「ネット設定」⇒「ネット情報表示」の順に進みます。

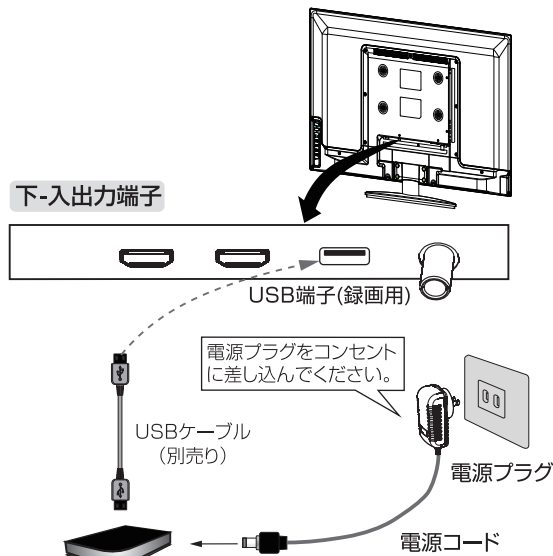


ハードディスクの接続と設定

接続のしかた

ハードディスクのUSBケーブルを本製品の背面端子部にあるUSB端子へ接続します。接続後にハードディスクの電源が入っていることを確認してください。

- 本機に接続した録画用USBハードディスク(別売り)で、地上デジタル放送の録画や録画予約ができます。



電源供給のハードディスク(別売り)推奨使用。
(標準規格-USB2.0)

お知らせ

- ※本機に接続できるUSBハードディスクの最大容量は2TBです。
- ※本機に接続できるUSBハードディスクについては、50ページをご覧ください。

ご注意

- USBハードディスクと本機の接続には、USBケーブルで直接接続してください。(登録は、最大8台まで。)
- USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、USBハードディスクを抜いたりしないでください。保存した内容が消えたり、ハードディスクが故障したりする原因となります。
- パソコンで使用していたUSBハードディスクを本機に接続して登録すると、パソコンなどで保存していたデータはすべて消去されます。
- 本機に接続し初期化登録を行ったUSBハードディスクは本機以外のテレビやパソコンなどでは利用できません。

新しいハードディスク登録と初期化

未登録のUSBハードディスクを初めて接続した際は、USBハードディスクの初期化が必要です。初期化されていないUSBハードディスクを接続した場合は、録画や録画予約ができません。

■ 新規登録の場合

- 1 新しいハードディスクを接続するときは、初期化の確認画面が表示されたら、◀▶で「はい」を選び、【決定】を押します。

⇒初期化と登録の処理が始まります。

ディスク HD-LCU3
このディスクを初期化しますか？

はい いいえ

ハードディスク初期化中

- ※初期化作動中は、「ハードディスク初期化中」文字が点滅表示。
- ※新規登録の場合は、ハードディスク初期化中が表示されます。初期化中は、電源を抜かないようご注意ください。

- 2 初期化が完了しました。録画機器を設定する確認画面が表示されたら、◀▶で「はい」を選び、【決定】を押します。

初期化が完了しました。

USB 5 ハードディスク 5
録画機器を設定しますか？

はい いいえ

- 3 登録結果のリスト内容を確認し、【戻る】を押します。

- 本機で登録したハードディスクを再度接続した場合、自動的に認識します。(認識に時間がかかる場合があります。)

機器の登録

接続	登録番号	登録名
未接続	USB 1	ハードディスク 1
未接続	USB 2	ハードディスク 2
未接続	USB 3	ハードディスク 3
未接続	USB 4	ハードディスク 4
未接続	USB 5	ハードディスク 5
接続	USB 6	ハードディスク 6

ハードディスクの登録を解除します。
ハードディスクの録画番組は再生できなくなります。

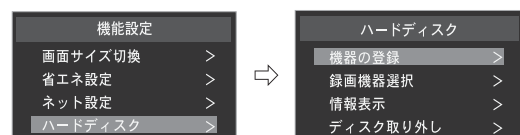
解除 登録解除 新規登録

USBハードディスクの設定をする

登録したUSBハードディスクの設定変更、取り外しのための設定及び初期化などができます。USBハードディスクを接続し自動認識すると、機器の登録画面が表示されます、必要に応じて以下の設定をします。

■ 機器の登録をするとき

- 1 ハードディスクを登録するときは、【メニュー】を押し、▲▼で「機能設定」を選択し、【決定】を押します。▲▼と【決定】で、「ハードディスク」⇒「機器の登録」の順に進みます。



はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約/再生

外部機器と接続

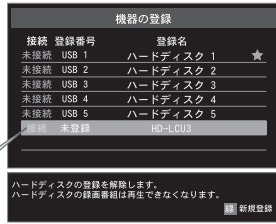
設定と調整

その他

ハードディスクの接続と設定(つづき)

2 登録リストの画面が表示されたら、▲▼で登録したいハードディスクを選び、【緑】を押します。

ハードディスクの接続状態

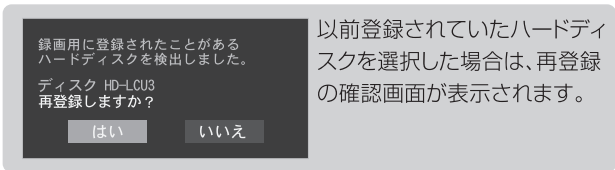


3 初期化の確認画面が表示されたら、◀▶で「はい」を選び、【決定】を押します。

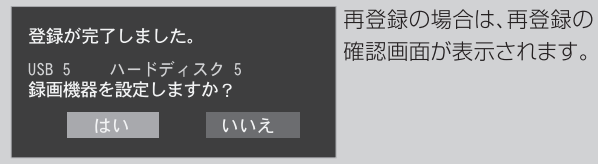
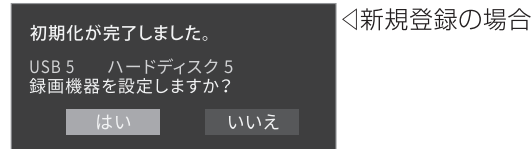
⇒初期化と登録の処理が始まります。



文字点滅表示。

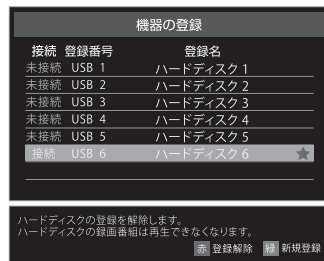


4 初期化が完了しました。録画機器を設定する確認画面が表示されたら、◀▶で「はい」を選び、【決定】を押します。



5 登録結果のリスト内容を確認し、【戻る】を押します。

●本機で登録したハードディスクを再度接続した場合、自動的に認識します。(認識に時間がかかる場合があります。)

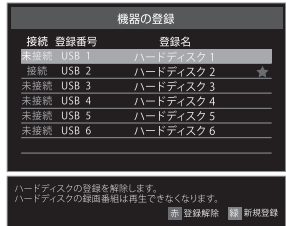


ご注意

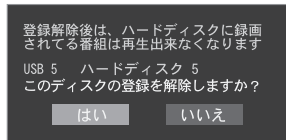
修理などで、本機内部のハードディスク登録情報記憶部が含まれる部品を交換した場合や、本機自体を交換した場合は、それまでに使用していたハードディスクは未登録(新しいハードディスク)として認識され、初期化して使用することになります。初期化の際は、録画内容はすべて消去されます。

登録を解除するとき

1 登録リストの画面が表示されたら、▲▼で登録を解除するハードディスクを選び、【赤】(登録解除)を押します。



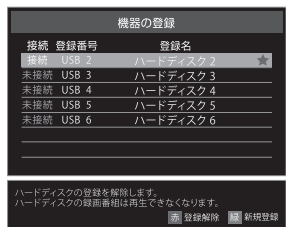
2 解除の確認画面が表示されたら、◀▶で「はい」を選び、【決定】を押します。



3 確認画面が表示されたら、【決定】を押します。



4 終わったら、登録結果の内容を確認し、【戻る】を押します。

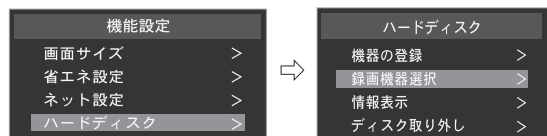


- 機器の登録リストより解除する機器を選んで【赤】ボタンを押すと、登録解除できます。一度解除した機器を再度登録する場合、初期設定は必要ありません。
- 新規登録されたハードディスクは、再度登録した場合、その中のファイルもそのまま残った状態で表示されます。
- 予約が設定されているUSBハードディスクは、再登録を促すメッセージ付きの登録解除確認画面が表示されます。

録画機器を選択する

機器の登録リストからハードディスクを選びます。

1 【メニュー】押し、▲▼で「機能設定」を選択し、【決定】を押します。▲▼と【決定】で、「ハードディスク」⇒「録画機器選択」の順に進みます。



2 選択したい機器を▲▼で選び、【決定】を押します。



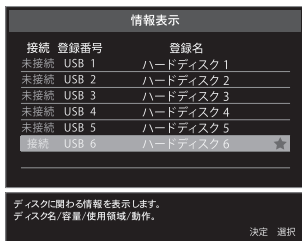
●これで設定完了です、選択したUSBハードディスクのタイトルの右側に★アイコンが表示されます。

ハードディスクの接続と設定(つづき)

ハードディスクの情報表示

1 [メニュー]を押し、▲▼で「機能設定」を選択し、[決定]を押します。▲▼と[決定]で、「ハードディスク」⇒「情報表示」の順に進みます。

2 表示する機器を▲▼で選び、[決定]を押します。



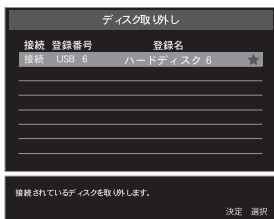
3 情報内容を確認し、[戻る]を押します。



機器の取りはずし

本機に接続したUSBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜くときは、以下の操作をします。

1 [メニュー]を押し、▲▼で「機能設定」を選択し、[決定]を押します。▲▼と[決定]で、「ハードディスク」⇒「ディスク取り外し」の順に進みます。



2 取りはずす機器を▲▼で選び、[決定]を押します。

3 確認画面で、◀▶で「取り外し」を選び、[決定]を押します。



4 [決定]を押し、取り外しの設定を終了します。



お知らせ

本機に一度登録してから取りはずしたUSBハードディスクは、再度接続したとき自動的に認識しますので、録画した番組を消去することなく登録できます。

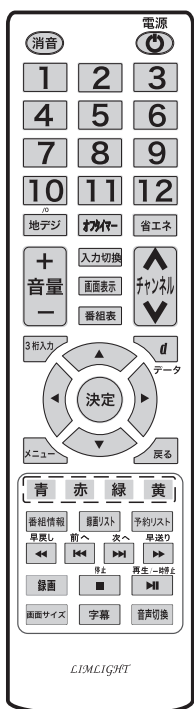
ご注意

本機に接続したUSBハードディスクは、必ず上記の操作により安全に取りはずしてください。安全に取りはずしをしなかった場合、次回電源を入れたとき、ハードディスクの認識に数分かかったり、ハードディスクを認識できなくなったりする可能性があります。また、本機の動作が不安定になる場合があります。

テレビを見る

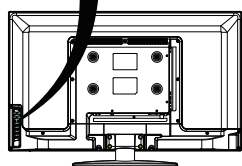
基本的な使いかた

リモコン

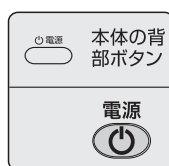


テレビ操作部

本体の背部ボタン



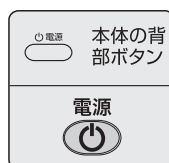
電源を入れる



「電源」ランプ表示が赤色に点灯しているときは待機状態です。リモコンの【電源】ボタンまたは本体の背部電源ボタンを押します。

- 電源が「入」になり、「電源」ランプ表示が緑色に点灯します。
- 内部処理を行っているため、画面表示するまで若干時間がかかる場合があります。

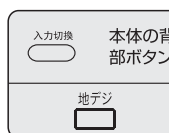
電源を切ります(電源を待機にする)



電源が「入」のとき、リモコンの【電源】を押します。

- 電源が「待機」(リモコン操作待受状態)になり、「電源」ランプ表示が赤色に点灯します。
- リモコンで電源を入れることができます。(ほかのリモコンでの操作はできません。)
- 長期間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

見たい番組を選ぶ



1 【地デジ】を押し、地上デジタル放送に切り換えられます。

- 今見ている放送と同じ種類の入力を見る場合は、この操作は不要です。
- 本体の背部入力切換ボタンでも入力の種類が切り換えられます。【入力切換】を押すたびに、入力の種類が順に切り換わります。



2 チャンネルを変更します。(選局する)

→以下の3とおりの選局方法があります。

【ワンタッチ選局ボタンで選局する(ワンタッチ選局)

⇒ワンタッチ選局ボタン1~12で選局します。(下の「お知らせ」をご覧ください。)

【チャンネル▲▼ボタンで選局する(順次選局)

⇒リモコンのチャンネル▲▼ボタンまたは本体の背部チャンネル▲▼ボタンでチャンネルが順に切り換わります。

【チャンネル番号を入力して選局する(3桁入力での選局)

- デジタル放送の場合にこの方法で選局できます。
- デジタル放送のチャンネル番号は番組表で確認できます。(※3桁入力の操作方法には、19ページをご参照)

音量を調節します/消音



⇒リモコンの【音量+/-】または本体の背部【音量+/-】ボタンを押します。

⇒リモコンの【消音】または本体の背部【消音】ボタンを押します。

- 画面の下に「消音」が表示されます。再度【消音】ボタンを押す、または音量調節ボタンを押すと音声聞こえるようになります。
- 音量は0~50の範囲で調節できます。

字幕を表示させる



リモコンの【字幕】を押して字幕が表示されます。(詳しくは、19ページをご参照)

お知らせ

- 【1~12】でワンタッチ選局ができるのは以下のとおりです。
⇒【地デジ】を押したとき→「かんたん設定」で各ボタンに登録されたチャンネル。
- 視聴できるデジタル放送のチャンネルやワンタッチ選局ボタンの番号は、番組表で確認することができます。
- 枝番のついた放送一覧は、地上デジタル放送で隣接地域と同じチャンネル番号の放送を複数受信できたときに表示されます。
- 順次選局の順番は、放送の運用規定に従います。(番号順にならない場合があります)
- お買い上げ直後や、お買い上げ時の設定に戻した直後は、チャンネル番号入力での選局ができないことがあります。

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約再生

外部機器と接続

設定と調整

その他

基本的な使いかた

3桁入力での選局

リモコンの1～10/0数字ボタンでチャンネル番号を入力します。

1 **【3桁入力】**を押し、チャンネル番号の入力画面が表示されます。

2 **【1～10/0】**でチャンネル番号を入力します。
⇒直接チャンネルを選局できます。

例:チャンネル「023」を選ぶとき

地デジ 枝番

例:チャンネルの「023」を選局するとき数字ボタン【10/0】→【2】→【3】を順に押す。

- ボタンは3秒以内に次のボタンを押してください。
- 入力した番号を消すには、◀を押します。

※デジタル放送では3ケタのチャンネル番号と枝番がある番組があります。必要に応じて枝番に(1～10/0)を入力してください。

字幕表示

字幕切換で「字幕オン」に設定すると、字幕放送になったときに字幕が表示されます。お買い上げ時は、「字幕オン」に設定されています。字幕放送番組は、番組表に「字」のアイコンが表示されます。(一部、表示と実際の放送が一致しない場合があります。)

1 **【字幕】**を押すたび以下のように切り換わります。



※字幕放送時のみ表示されます。

※外部入力(DVDプレーヤー等)の字幕切換はできません。

※設定時には「第1言語」「第2言語」と表示していますが、実際の画面表示と異なることがあります。

※「字幕設定」について詳しくは40ページをご覧ください。

外部入力画面切換

本体背面の外部入力端子に接続したDVD プレーヤーやビデオデッキなどの使用時に入力切換を行います。

1 **【入力切換】**または本体の背部入力切換ボタンを押すたびに外部入力が切り換わります。

- 入力切換を繰り返し押すか、または▲▼を押して入力を選びます。

リモコンの入力切換ボタンを押すたびに下記の順のように切り換わります。

地デジ → ビデオ → HDMI 1
HDMI 2 ←



画面左上

※切り換えたい入力を選択後に**【決定】**ボタンを押します。
※入力切換ボタンを押し「入力切換」の一覧を表示させると、方向ボタンの▲▼ボタンでも切り換えることができます。

地デジ放送に切り換える

1 外部入力視聴中に**【地デジ】**を押すと、地デジの放送を視聴することができます。

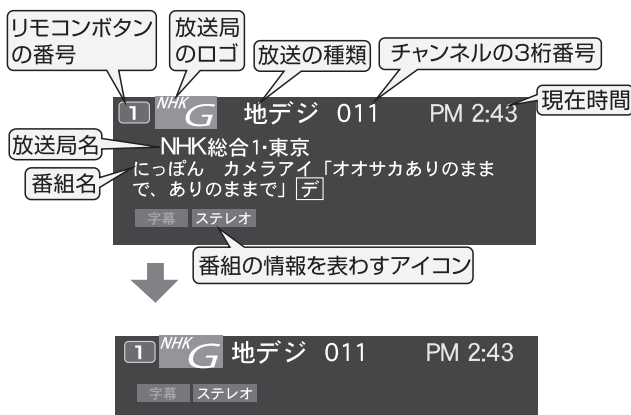
チャンネル情報を見る

現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます。(チャンネル以外の表示は数秒後に消えます)

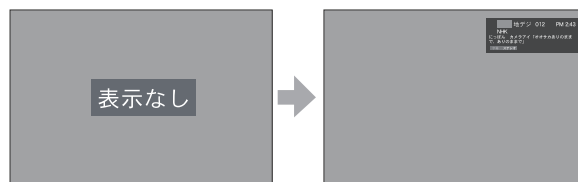
1 視聴中に**【画面表示】**を押すと、画面にチャンネル情報等が表示されます。

2 **【画面表示】**を消すには、もう一度**【画面表示】**を押します。

⇒選局時には一部省略された状態で表示されます。

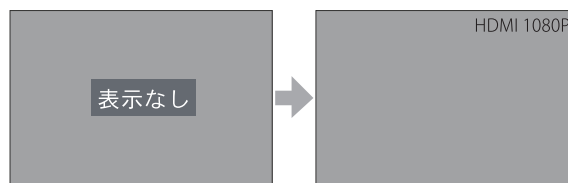


※しばらくすると、画面下部の表示は消えて上部の表示だけになります。



【画面表示】を押すたびに切り換わります。

- 入力切換時は外部入力の名前を表示します。
例:「HDMI」入力



【画面表示】を押すたびに切り換わります。

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約再生

外部機器と接続

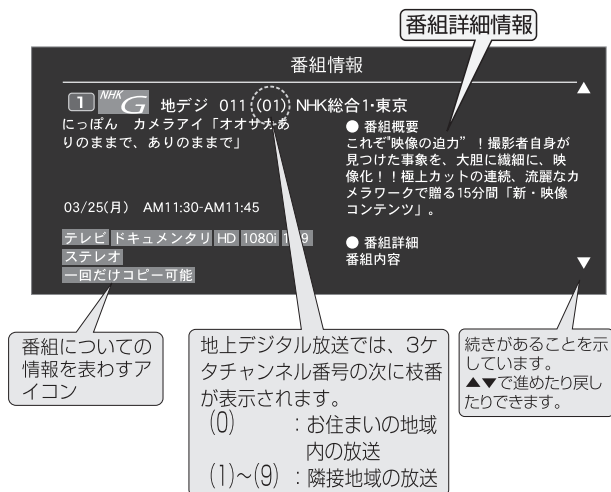
設定と調整

その他

デジタル放送の便利な機能を使う

番組情報を見る

1 視聴中に【番組情報】を押すと、番組詳細情報が表示されます。



2 さらに詳しい説明を見るときは▼を押します。

- 情報が取得できなかつたり、情報がなかつたりした場合には、「詳細情報を取得できませんでした」と表示されます。

3 説明画面を消すには、【戻る】を押します。

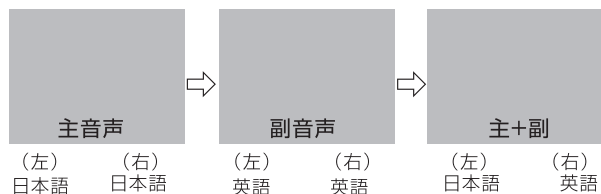
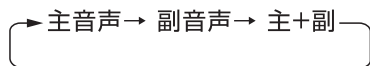
- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報が表示されないことがあります。
- 番組によっては、録画、録音が制限される場合があります。その場合は、番組説明の画面でアイコンが表示されます。

他の音声切換

音声多重番組で聴きたい音声を選択する

- 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主:副を切り換えることができます。
- 番組情報画面に【二重音声】のアイコンが表示されます。

1 【音声切換】を押すたびに以下のように切り換わります。



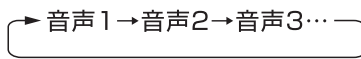
(例:主音声で日本語、副音声で外国語というように二ヶ国語で放送している場合。)

- 音声多重放送には二重やマルチ音声などがありますが、放送内容によっては表示が異なることがあります、上図と異なることがあります。

音声を切り換える

- 複数の音声で放送されている番組の場合、音声1、音声2などの音声信号を切り換えることができます。
- 番組情報画面にその情報のアイコンが表示されます。

1 【音声切換】を押すたびに以下のように切り換わります。



- 選局操作をすると、音声切換で選択した状態は取り消されます。(基本の信号を選択した状態になります)
- 映像の切換と同時に音声も切り換わる場合があります。

※ステレオやモノラルで放送されている場合には音声を切り換えられない場合があります。

放送音声	音声表示内容
音声多重	主
	副
	主+副
モノラル	(音声1)モノラル
ステレオ	(音声2)ステレオ

自動で電源を切れるようにする

オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、「待機」の状態になります。

1 【オフタイマー】を押す、設定を切り換えることで設定した時間経過後に電源を切る(待機状態にする)ことができます。

【オフタイマー】を押すたびに、設定時間がつきのように切り換わります。

切→30分→1時間→1時間30分→2時間

画面表示：

オフタイマー：残り 1時間0分

2 再度【オフタイマー】を押すことで再設定ができます。

※設定した時刻になる前に、主電源を切ったりすると、設定が取り消されます。

暗証番号を設定する

暗証番号は、視聴年齢制限のある番組を見たりするときには必要です。暗証番号を設定した場合には、暗証番号の変更・削除および「設定リセット」をするときにも暗証番号の入力が必要になります。

1 【メニュー】を押し、▲▼で「各種設定」を選択し、【決定】を押します。▲▼と【決定】で、「個人情報」⇒「暗証番号設定」の順に進みます。

⇒暗証番号の入力画面が表示されます。

2 【1～10(0)】で暗証番号を入力します。以下操作方法は39ページの「暗証番号設定」の手順2～5と同じです。(39ページをご覧ください。)

デジタル放送の便利な機能を使う(つづき)

番組の視聴を制限する

デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには設定が必要です。

- お買い上げ時には、番組の視聴制限は設定されていません。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定してください。

1 【メニュー】を押し、▲▼で「各種設定」を選択し、【決定】を押しします。同様に▲▼と【決定】で、「個人情報」⇒「視聴制限設定」の順に進みます。

⇒暗証番号の入力画面が表示されます。

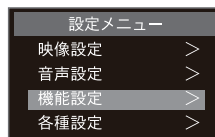
2 【1～10/0】で暗証番号を入力します。以下操作方は40ページの「視聴制限設定」の手順2～4と同じです。(40ページをご覧ください。)

画面サイズを切り換える

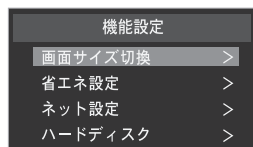
視聴している映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。

設定メニューで「画面サイズ」を切り換える

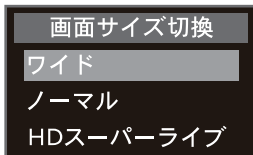
1 【メニュー】を押し、▲▼で「機能設定」を選んで【決定】を押しします。



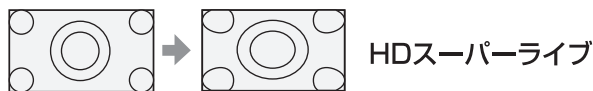
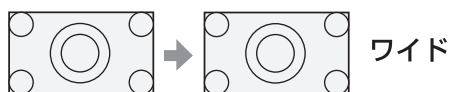
2 【メニュー】を押し、▲▼で「画面サイズ切替」を選んで【決定】を押しします。



3 お好みの画面サイズを▲▼で選び、【決定】を押しします。



例 地上デジタル放送の16:9映像のとき



お知らせ

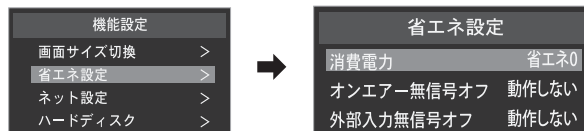
- ※テレビ番組等のソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、本来の映像とは見えかたが異なります。
- ※本機にHDMI端子のあるパソコンを接続して、Dot by Dotには対応していません。適正解像度でも若干にじんだ表示になる場合があります。
- ※外部入力の場合に合わせて切り換えてください。

省エネ設定

液晶画面のバックライトの明るさをおさえることでテレビの節電ができます。「省エネ0」、「省エネ1」および「省エネ2」に切り換えた場合、画面の明るさに適した画質に自動調整されます。

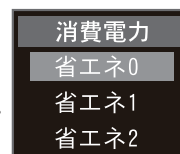
設定メニューで「省エネ設定」を切り換える

1 【メニュー】を押し、▲▼で「機能設定」を選択し、【決定】を押しします。同様に▲▼と【決定】で、「省エネ設定」⇒「消費電力」の順に進みます。



2 ▲▼で省エネモードを選び、【決定】を押しします。

- 設定項目:省エネ0、省エネ1、省エネ2。



※省エネ1：バックライトの明るさを抑え、バックライトの消費電力を約15%～20%節約することができます。

※省エネ2：バックライトの明るさを更に抑え、バックライトの消費電力を約35%～40%節約することができます。

※省エネを設定すると画面が暗くなったり音声が悪くなる場合があります。気になる方は「省エネ0」(オフ)に設定してください。

※その他の節電機能設定は38ページをご参照ください。

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約/再生

外部機器と接続

設定と調整

その他

データ放送を楽しむ

データ放送について

- デジタル放送ではテレビ放送以外にデータ放送の機能があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルで提供されている番組関連のデータや、番組案内、天気予報、ニュースなどの放送があります。

連動データ放送を楽しむ

一部の番組には番組連動データ放送があり、双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加することが出来ます。

※ テレビ放送チャンネルで番組案内や天気予報、ニュース等のデータ放送を提供している場合があります。

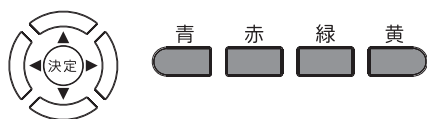
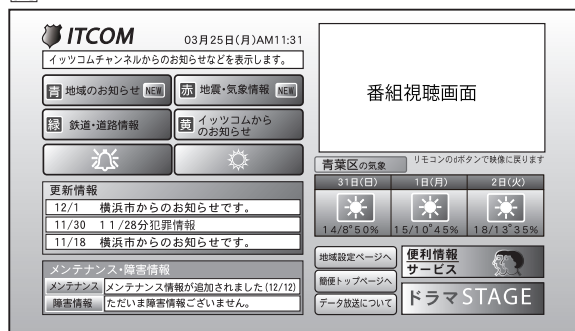
1 デジタル放送の番組視聴中に【dデータ】を押すと、番組連動データ放送画面が表示されます。

⇒ リモコンのカラーボタン【青、赤、緑、黄】で、データ放送画面内の色々な情報を選んで閲覧することができます。画面に表示された色と同じリモコンのカラーボタンで選択します。

⇒ 番組によっては押す必要がない場合があります。

⇒ 各放送局からのデータ放送画面内容はそれぞれ異なりますので、画面に表示されている操作方法を読んでから操作してください。

例



2 データ放送を終了するには、もう一度【dデータ】を押します。

お知らせ

双方向サービスについて

- 双方向サービスをご利用される場合、あらかじめインターネットの接続と設定を行ってください。
- 双方向サービスのご利用には登録の申し込みが必要な場合があります。
- 双方向サービスでは、ご利用者の個人情報の入力を要求する場合がありますが、接続のサイトによってはSSLなどのセキュリティ対策がない場合がありますので、ご注意ください。
- 双方向サービスをご利用時、通信がすぐにはできず、次の操作まで時間がかかることがあります。
- テレビ作動中は電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスで、お客様のポイント等情報が更新できないことがあります。

デジタル放送の双方向サービスについて

※ インターネットや電話回線を利用して放送局との間で双方向に通信できるサービスです。ショッピング番組で買い物したり、クイズ番組でクイズに参加して回答したりできます。(本機では電話回線を利用した双方向サービスは対応しておりません)

※ 地上デジタル放送の双方向サービスには番組に連動した通信サービスと番組とは関係のない通信サービスがあります。

番組表を使う

番組表の見かた

- ⇒デジタル放送を視聴中にリモコンの【番組表】ボタンを押すと、番組表が表示されます。
- ⇒▲▼◀▶で番組を選択できます。

番組画面:(7チャンネル/4時間分の表示の例)

⇒7チャンネル/4時間分の表示がされます。▲▼で時間帯が移動します。◀▶でほかのチャンネルに移動します。

リモコンボタンの番号 チャンネルの3桁番号 放送の種類 放送局のロゴ 現在の日時

地上デジタル 2013年03月25日(月) AM11:31 放送局名

録画予約がある時間帯(赤色の縦線表示)

選択中の番組(黄色背景)

視聴予約アイコン(緑)

録画予約アイコン(赤)

色分け設定をしたジャンルに該当する番組は、番組表と背景が設定した色になります。

選択中の番組のタイトル

番組表や操作画面などには、そのときに使用できるリモコンボタンの操作ガイドが表示されます。

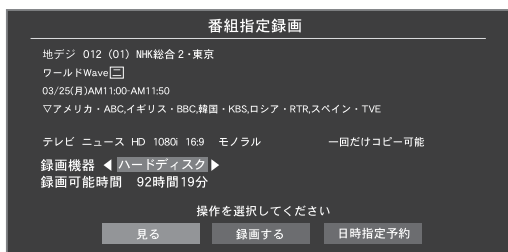
リモコンボタンの操作ガイド

お知らせ

- 番組表に表示できる番組情報は最大7日分です。
- 「チャンネルスキップ設定」で、「スキップ」に設定したチャンネルの番組表は表示されません。
- 録画予約は番組表に予約アイコンが表示されますが、日時指定予約をした場合は、表示されません。
- データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なる場合があります。

見たい番組を見る

- 1 【番組表】を押して、番組表が表示されます。
- 2 現在放送中の番組を▲▼◀▶で選びます。
 - 番組表に表示しきれていないチャンネルを表示させるには左◀▶で操作します。
- 3 【決定】を押す、「番組指定録画」画面が表示されます。



- データ放送の番組を選んだ場合は、そのチャンネルに切り換わります。

- 4 ▲▼◀▶で「見る」を選び、【決定】を押します。
 - ⇒選んだ番組の放送画面になります。

番組表で番組説明を見る

- 選択した番組の情報を確認することができます。

- 1 番組表を表示中に【番組情報】を押し、番組説明が表示されます。

番組詳細情報

番組情報

1 NHK G 地デジ 011 (01) NHK総合1・東京
にっぽん カメラアイ「オオサカあ
りのままで、ありのままで」

03/25(月) AM11:30-AM11:45

テレビ ドキュメンタリ HD 1080i 16:9

ステレオ

一回だけコピー可能

● 番組概要
これぞ「映像の迫力」！撮影者自身が見つけた事象を、大胆に繊細に、映像化！！極上カットの連続、流麗なカメラワークで贈る15分間「新・映像コンテンツ」。

● 番組詳細
番組内容

番組についての情報を表わすアイコン

地上デジタル放送では、3ケタチャンネル番号の次に校番が表示されます。
(0) : お住まいの地域内の放送
(1)~(9) : 隣接地域の放送

続きがあることを示しています。
▲▼で進めたり戻したりできます。

- 2 説明画面を消すには、【戻る】を押します。

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約再生

外部機器と接続

設定と調整

その他

番組表を便利に使う

■(青、赤、緑、黄)カラーボタンや番組表のメニューで、さまざまな便利機能を使うことができます。

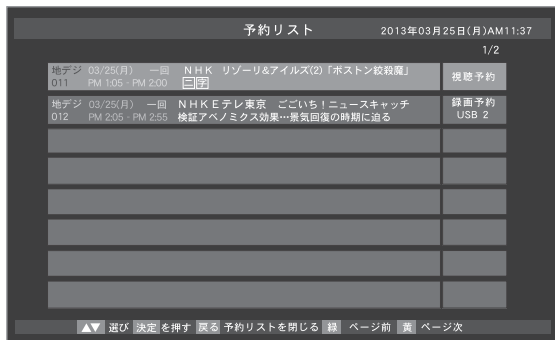
- 青** 前日の番組表を表示します。
- 赤** 翌日の番組表を表示します。
- 緑** 番組検索ができます。
- 黄** 録画・視聴予約リストを表示することができます。
- メニュー** 番組表のメニューを表示させる。

お知らせ

- ※デジタル放送の番組表は、放送電波で送られてくる情報で表示されます。
- ※デジタル放送では、放送局から送られてくる番組情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送局別の番組一覧を見ることができます。現在から最大7日先までの放送予定を確認できます。

予約リストに切り換える

- 1 番組表を表示中に【黄】を押し、【決定】を押して予約リストが表示されます。



⇒予約リスト画面が表示されます。

※「予約確認/取り消し」については、31ページをご覧ください。

番組表のメニュー

メニュー

- 表示数/文字サイズ
- 表示時間数設定
- テレビ/データ/ラジオ
- マルチ表示
- ジャンル色分け

▲▼ 移動 決定 を押す
戻る 前画面

- 1 番組表を表示中に【メニュー】を押すと番組表のメニューが表示されます。
- 2 ▲▼で以下設定項目を選び、【決定】を押して設定します。

文字サイズ変更

- 番組表の文字が小さくて見えにくいときなどに以下の操作をします。

表示数/文字サイズ

- 7列/文字サイズ.小
- 5列/文字サイズ.大

▲▼ 移動 決定 実行
戻る 前画面

- 1 番組表を表示中に【メニュー】を押し、▲▼で「表示列数/文字サイズ」を選んで【決定】を押します。
 - 2 お好みの文字サイズを▲▼で選び、【決定】を押します。
- 設定項目：7列/文字サイズ.小
5列/文字サイズ.大

番組表表示時間設定

- 番組表の表示時間数を設定する。

表示時間数設定

- 4時間表示
- 6時間表示

▲▼ 移動 決定 実行
戻る 前画面

- 1 番組表を表示中に【メニュー】を押し、▲▼で「表示時間数設定」を選んで【決定】を押します。
 - 2 お好みの表示時間数を▲▼で選び、【決定】を押します。
- 設定項目：4時間表示
6時間表示

テレビ/データ/ラジオ切換

番組表の放送メディアを切り換えることができます。

- 番組表に表示させる放送メディア(ラジオ、テレビ、独立データ)を選びます。

テレビ/データ/ラジオ

- テレビ
- データ
- ラジオ

▲▼ 移動 決定 実行
戻る 前画面

- 1 番組表を表示中に【メニュー】を押し、▲▼で「テレビ/データ/ラジオ」を選んで【決定】を押します。
 - 2 ▲▼で「テレビ」/「データ」/「ラジオ」を選んで【決定】を押します。
- 設定項目：テレビ、データ、ラジオ。

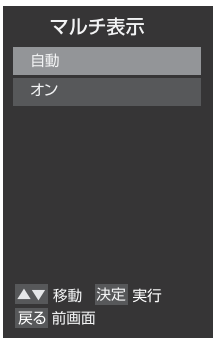
- 「ラジオ」は、ラジオ放送が運用されている場合に選択できます。

番組表を便利に使う(つづき)

番組検索

チャンネル表示

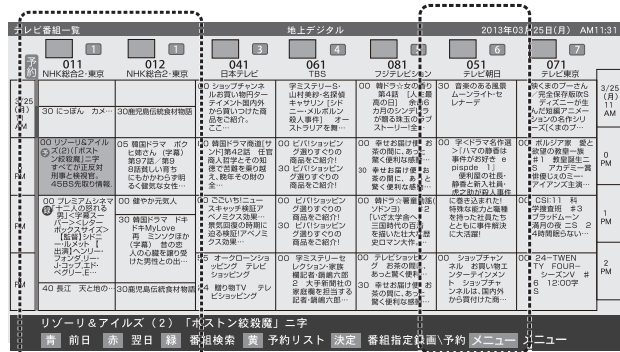
- 地上デジタル放送では、放送局(放送事業者)ごとの代表チャンネル表示(1チャンネル表示)とマルチチャンネル表示(マルチ表示)の切り換えができます。



▲▼で「自動」または「オン」を選び、【決定】を押します。

※「自動」にする場合は、7日間のサブチャンネルの番組がすべて主と同じ番組であれば、サブチャンネルの欄は表示しません。1個でも違っていると、サブ欄が表示されます。

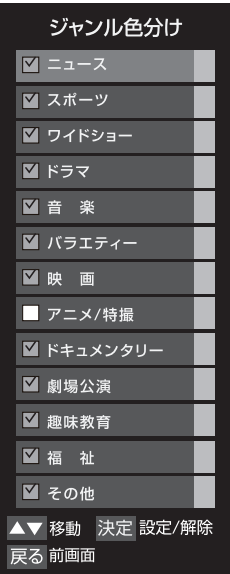
- 番組表を表示中に1チャンネル表示とマルチ表示を切り換えます。



マルチ表示

1(代表)チャンネル表示

ジャンル別色分けする



- 番組のジャンル(分野)別に色分けをすれば、見たい番組を探すのに便利です。
- お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更することができます。

- 1 番組表を表示中に【メニュー】を押し、▲▼で「ジャンル色分け」を選んで【決定】を押します。
- 2 指定するジャンルを▲▼で一つ選び、【決定】を押します。
- 3 【決定】を押すたびに、選んだジャンルのチェックボックスとが交互に切り換わります。
 - 設定するジャンルにチェックマークをつけます。設定するすべてのジャンルにチェックマークを付けてください。
 - 設定を解除すると色分け表示がなくなります。
- 4 設定完了、【戻る】を押します。

※色分け設定をしたジャンルに該当する番組は、番組表と背景が設定した色になります。

ジャンルを絞りこんで番組を探す

番組のジャンル(分野)を指定して見たい番組を探すことができます。

※ジャンルは、スポーツ、ドラマ、音楽などのような、番組の分野のことです。

- 1 番組表を表示中に【緑】を押し、「番組検索」画面が表示されます。
- 2 指定するジャンルを▲▼◀▶で一つ選び、【決定】を押して検索が始まります。

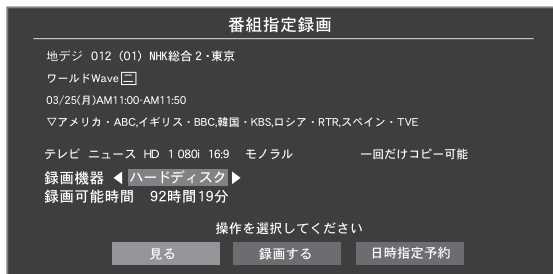


- 3 「番組検索結果」画面から見たい番組を▲▼で選び、【決定】を押します。



⇒「番組指定録画」画面が表示されます。

- 4 ◀▶で「見る」を選び、【決定】を押します。⇒選んだ番組の放送画面になります。



※これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面が表示されます。

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約/再生

外部機器と接続

設定と調整

その他

録画・予約機能について

- 本機は「シングルチューナー」を搭載しています。現在視聴している番組とは違う番組を録画することはできません。
- 予約:最大32番組の録画予約が可能です。
- 1つのハードディスク(HDD)には約500件録画番組の録画が可能です。
- 録画時間の目安(例)500GBのHDD 地デジ:約53時間。
※番組のデータ量によって録画可能時間は変わります。
- 本製品で使用できるHDDの容量は2TBまでです。
※データ転送方式が2013年現在の規格から変更されたHDDでは使用できない場合があります。
- 何らかの理由(主電源が切れた、電波が途切れた等)で録画が中断した場合には、データが破損してしまい、再生できない場合があります。「メール表示」へ録画関連のエラーの詳細(最大14件まで保存)も届きますのでご確認ください。
- コピー禁止の番組や、ラジオ放送番組、ビデオ/HDMIなど外部入力の映像・音声などを記録することができません。本機で受信したデジタル放送番組のみです。
- 本製品で録画したデータは、パソコンなどで使用や視聴はできません。
- 番組表は約7日後まで取得できます。これ以上先の録画予約はできません。
- 同じ時間帯に重複した録画をすることはできません。
- 本機へ接続して使用するUSBで接続するハードディスク(HDD)に録画する際は、事前に試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。
- 著作権保護のため本機で録画した番組(以下録画データ)は移動(ムーブ)や複製(コピー)をすることはできません。
- 本機で録画した番組は、本機でのみ視聴することができます。同機種でも視聴できません。
- 本機の故障などの理由により修理や交換をした場合には、すでに録画していた録画データが視聴できなくなります。あらかじめご了承ください。
- 視聴予約をした番組の開始時刻になると、予約した番組のチャンネルに自動的に切り換わります。「待機」になっている場合は、自動的に電源が入ります。
- 本機を購入されたお客様が録画した番組については、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。録画したものを個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲で楽しむ以外に権利者の許諾なく複製や改変をしたり、インターネットなどで送信や掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
録画した番組を自分のホームページに載せる。
録画した番組をメールなどで他人へ送る。
録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸す。
- 著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。なお著作権法違反によって生じた損害に関して当社は一切の責任を負いません。

USBハードディスクについて

接続・設定と録画前の準備

- 外付けUSBハードディスクの接続と登録設定は、15ページをご覧ください。
 - ハードディスク(HDD)に録画する際は、事前に試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。
 - 本機で接続確認済みの機器以外では、使用できないことがあります。(対応している機器については、50ページをご覧ください。)
 - USBハードディスクの電源を入れておきます。
 - USBハードディスクの使用領域(%)を確認します。
 - 録画リストで「録画番組数」を確認します。
- ※ 残量不足や番組数超過(500を超過)になりそうな場合は、不要な番組を削除します

録画・予約の種類

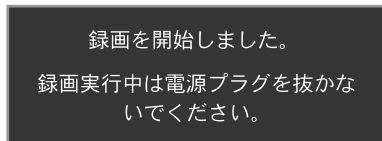
録画・予約の種類	記載ページ
見ている番組を録画する(今すぐ録画する)	27ページ
番組表で録画・予約をする(番組指定録画・予約)	28ページ
番組を検索して録画・予約をする(番組検索録画・予約)	29ページ
日時を指定して録画・予約をする(日時指定予約)	30ページ

見ている番組を直接録画する

現在視聴しているデジタル放送番組を録画します。

《現在視聴中の番組を直接録画する》

- 1 デジタル放送を見ているときに【録画】を押します。
⇒録画メッセージが画面表示され、録画が始まります。



設定情報が送られ、しばらくすると録画が開始されます。

- 1 録画中に【画面表示】ボタンを押します。
*下記番組情報の画面メッセージが表示されます。

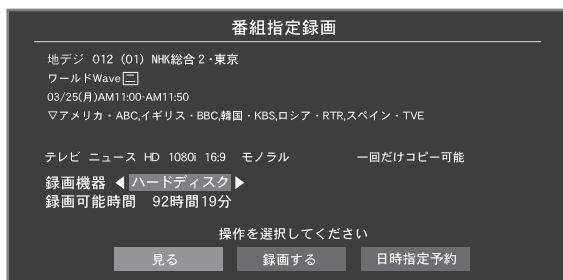


録画中表示

- ※【画面表示】ボタンを押すと表示が消えます。
- ※電源ランプが橙点灯している時は、録画中です。

《番組内容を確認して録画する》

- 1 デジタル放送中に【番組表】を押します。
⇒番組表が表示されます。
- 2 現在放送中の番組から録画したい番組を▲▼◀▶で選び、【決定】を押します。
⇒「番組指定録画」が表示されます。



- 3 ◀▶で「録画する」を選び、【決定】を押します。

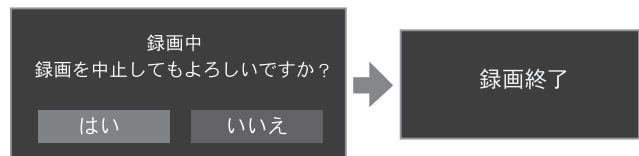
お知らせ

- ※録画中はコンセントを抜かないでください。録画に失敗し、録画したい番組の録画が消えてしまいます。また既に録画した部分の保存も出来なくなります。
- ※録画中はハードディスクの接続ケーブルを抜かないでください。録画に失敗し、録画したい番組の録画が消えてしまいます。また、既に録画した部分の保存も出来なくなります。
- ※録画中は数字ボタン、3ケタの数字入力及びチャンネル▲▼ボタンでのチャンネルの切替など、他のチャンネルの番組が視聴出来ません。

録画停止

録画を途中でやめるとき、以下の操作をします。ハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。(録画予約での録画中の場合も同様です。)

- 1 録画中に【停止】または【録画停止】を押します。
⇒録画停止の確認メッセージが画面表示されます。
- 2 ◀▶で「はい」を選択し、【決定】を押すと、その時点までの録画がハードディスクに保存されます。
⇒録画が停止します。



はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約再生

外部機器と接続

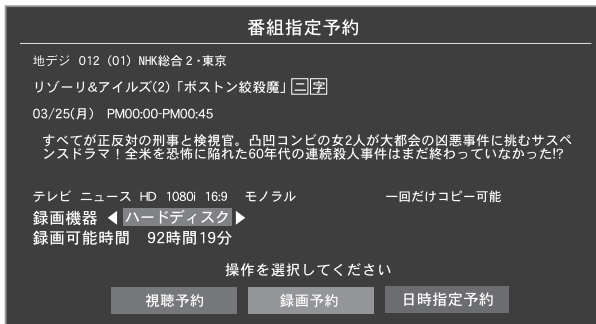
設定と調整

その他

番組表で録画/視聴予約をする

- 1 デジタル放送中に【番組表】を押します。
⇒番組表が表示されます。

- 2 これから放送される番組を▲▼◀▶で選び、【決定】を押します。
⇒「番組指定予約」が表示されます。



- 視聴予約—指定した番組の視聴を予約します。
- 録画予約—指定した番組の録画を予約します。
- 日時指定予約—予約する日、開始時刻、終了時間を設定します。

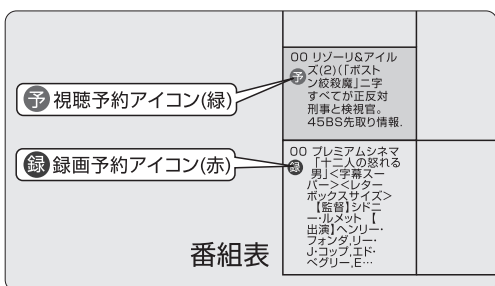
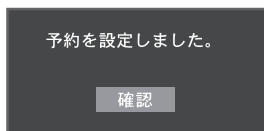
以下の設定項目を変更するとき

■「日時指定予約」を選択した場合

- ※日時指定予約設定メニューへ移動します。
 - ①▲▼◀▶で「日時指定予約」を選び、【決定】を押します。
 - ② 設定する項目を◀▶で選び、▲▼で日時を設定します。
 - ③「日時指定予約」と同じ操作方法で設定します。
- ⇒メッセージに従って操作をすると、「日時を指定して録画・予約をする」(30ページ)と同じ操作方法で設定します。

- 3 ◀▶で「視聴予約」または「録画予約」を選び、【決定】を押します。

- 4 「予約を設定しました」のメッセージが表示されたら、【決定】を押して視聴/録画予約設定完了。



- ※これで録画予約は完了です、番組表に視聴/録画予約アイコンが表示されます。
- ※カーソルのある番組(選択中の番組)は「黄色」で表示されます。
- ※無操作時には約2分間でテレビ視聴画面に戻ります。

マルチ表示の番組表で予約するとき

「マルチ表示の番組表で予約」

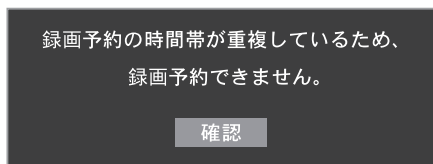
- 一つの放送局で別の番組を放送している場合があります。その番組を予約するには番組を「マルチ表示」に切り替えます。
- マルチ表示の番組表で同じ番組が並んでいるときは、どちらでも予約できます。

お知らせ

- 視聴制限番組を選んで録画予約などした場合メッセージが表示されます。「はい」を選びと暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号を入力すると、視聴制限が一時的に解除になります。
- 地上デジタル放送で番組編成の変更があった場合、予約どおりに作動しないときがあります。
- 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
- 予約の確認や取消しについては、31ページをご覧ください。
- 視聴予約をした番組に切り換わるのは、本機の電源が「入」のときだけです。
- 録画予約をした時間帯は番組表に赤色の帯で表示されます。
- 予約した番組が放送時間近くなると画面メッセージが表示されます。

録画予約ができない場合

メッセージが表示された場合



下記の場合には予約録画ができません。

- 予約時間が重複している場合。
- 録画時間がハードディスクの容量を超える場合。
- 短い番組(約1~3分以下の番組)
- 受信レベルが低下している場合。
- 録画予約番組の放送時間が変更した場合。
- 前の録画されている番組が延長した場合。
- 予約開始時に録画設定した記録ハードディスクが接続されていない場合。
- テレビ本体の主電源が切れている場合。

番組検索で録画・予約をする

番組のジャンル(分野)を指定して録画したい番組を探すことができます。

1 番組表を表示中に【緑】を押し、「番組検索」画面が表示されます。

2 指定するジャンルを▲▼◀▶で一つ選び、【決定】を押すと検索が始まります。



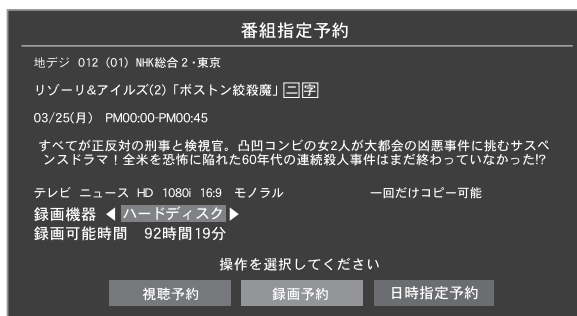
⇒「番組検索結果」が表示されます。

3 これから放送される番組を▲▼で選び、【決定】を押します。

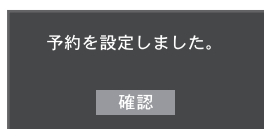


⇒「番組指定予約」が表示されます。

4 ◀▶で「視聴予約」または「録画予約」「日時指定予約」を選び、【決定】を押します。



5 「予約を設定しました」のメッセージが表示されたら、【決定】を押して視聴/録画予約設定完了。



- 放送中の番組を選んで、「録画する」を選択した場合は、録画が始まります。
- 放送予定の番組を選んで予約した場合には、「番組検索結果」の画面に戻ります。他の番組の予約を続けることができます。

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約/再生

外部機器と接続

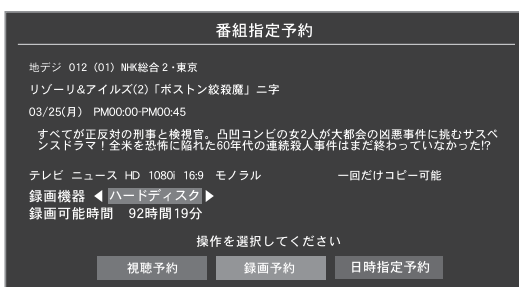
設定と調整

その他

日時を指定して録画・予約をする

毎日、毎週連続して予約することができます。

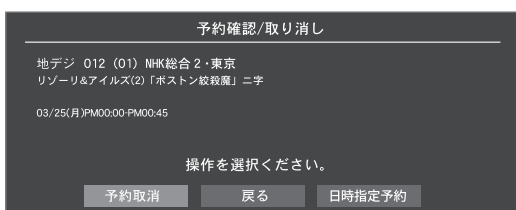
- 1 **【番組表】**を押し、**▲▼◀▶**で指定したいチャンネルの番組を選び、**【決定】**を押します。



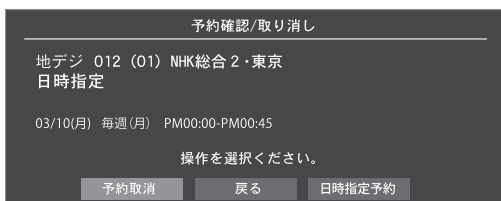
⇒「番組指定録画/予約」画面が表示されます。

必要に応じて予約リストで設定をする。

- 1 **【予約リスト】**を押します。
⇒予約リストが表示されます。
 - 番組表を表示中に**【黄】**を押すと予約リストが表示されます。
- 2 **▲▼**で予約設定したい番組を選び、**【決定】**を押します。



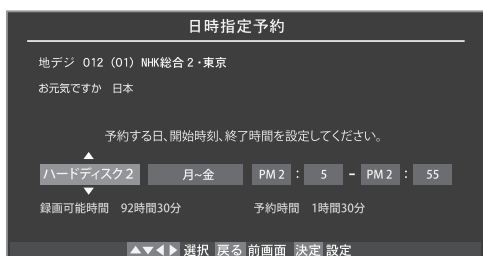
⇒「予約確認/取り消し」が表示されます。



⇒「日時指定予約確認/取り消し」が表示されます。

- 2 **▲▼◀▶**で**「日時指定予約」**を選び、**【決定】**を押します。⇒日時指定予約画面が表示されます。

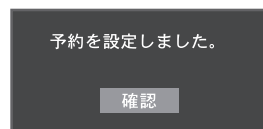
3 視聴/録画予約の日時を設定します。



- 1 設定する項目を**◀▶**で選び、**▲▼**で日時を設定します。
- 2 4週間先まで指定できます。
- 3 特定の日のほかに、「毎日」、「毎週(月)」～「毎週(日)」、「月～金」、「月～土」、「火～土」などの繰返し録画も選べます。

- 4 設定できる時間は最大23時間59分です。
- 5 設定が終わったら、**【決定】**を押します。
※視聴予約の終了時間を設定する場合は、この操作は不要です。

4 「予約を設定しました」のメッセージが表示されたら、**【決定】**を押して視聴/録画予約設定完了。



※録画予約開始時刻/終了時刻を設定する場合は、同じ時間帯は別の番組予約ができません。

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約再生

外部機器と接続

設定と調整

その他

予約の確認・取消しをする

- 視聴/録画予約した内容の確認、取り消すことができます。
- 録画予約設定や日時指定予約設定の変更をすることができます。

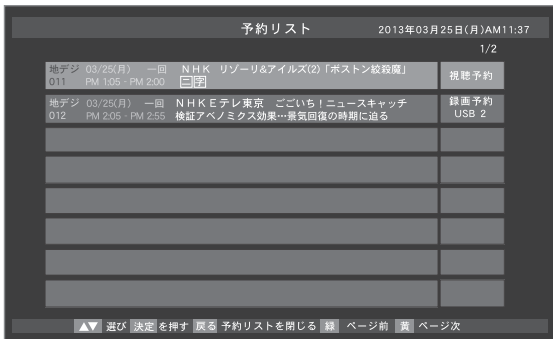
予約の確認・変更・取消し

1 【予約リスト】を押します。

⇒予約リストが表示されます。

- 番組表を表示中に【黄】を押し、【決定】を押して予約リストが表示されます。

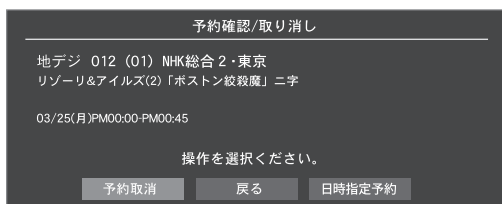
2 ▲▼で予約を確認する番組を選び、【決定】を押します。



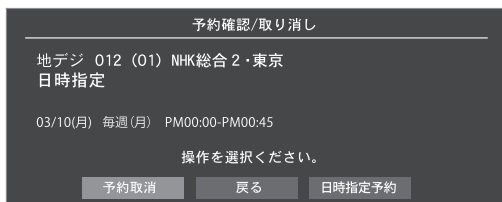
- 番組表から予約設定した番組を選び、【決定】を押し、「予約確認/取り消し」が表示されます。

3 予約を取り消すときは、◀▶で「予約取消」を選び、【決定】を押します。

⇒録画予約/視聴予約が取り消されます。



⇒日時指定予約が取り消されます。

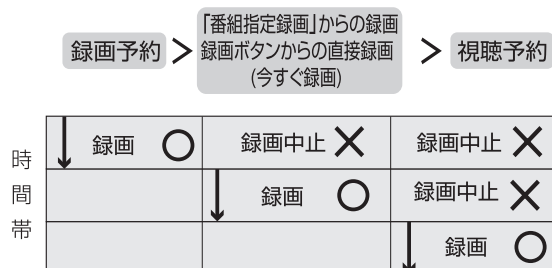


- 録画設定を変更するときには、「日時指定予約」の操作をします。

録画予約と視聴予約の優先順位

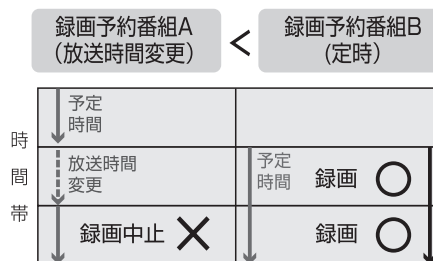
■ 録画予約と他の録画や視聴予約が重なった場合、「録画予約」が最優先されます。

録画予約と他の今すぐ録画や視聴予約が重なった場合、録画予約が最優先され、その他の録画や視聴予約は取り消しになります。



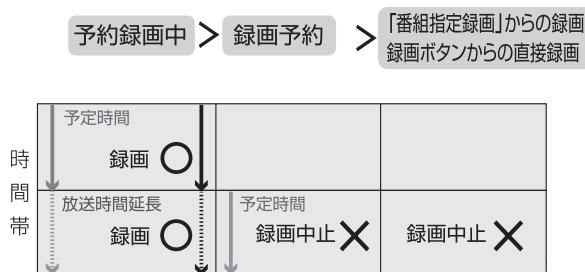
■ 放送時間が変更された場合、定時に「録画予約」番組が優先されます。

予約した番組の放送時間が変更されたり、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。(予約した番組は取り消しになります。)



■ 予約録画中の番組が延長されたら、他の録画予約や録画番組重なった場合、予約録画中の番組が優先されます。

録画予約した番組の放送時間が延長されたり、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。



■ 録画予約に設定した予約番組が重なった場合、先の録画予約を優先します。

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約再生

外部機器と接続

設定と調整

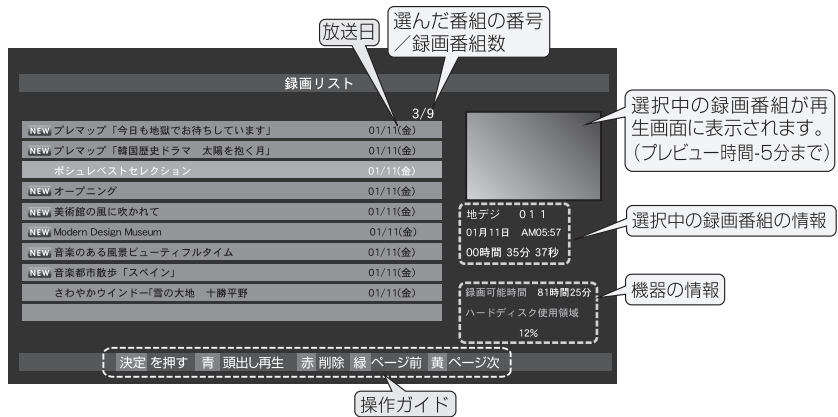
その他

録画した番組を再生する

本機に接続したUSBハードディスクに録画／保存されている番組をみるには、以下の操作をします。



※録画番組のタイトルの欄で録画中などの状態アイコンが表示されます。



再生の基本操作

1 【録画リスト】を押します。

録画リストが表示されます。録画リストには、選択している番組の簡単な情報や、録画可能時間、USBハードディスクの使用領域などが表示されます。

2 ▲▼で見たい番組を選び、【決定】または【再生/一時停止】を押します。

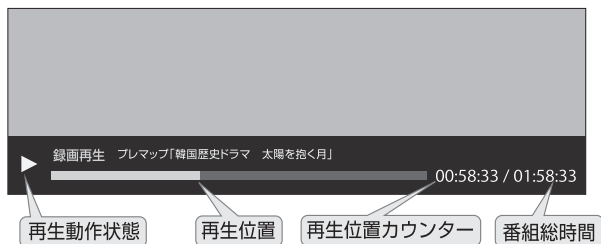
- 選んだ番組の再生が始まります。(再生されるまでに時間がかかる場合があります。)
- 番組の最後まで再生が終わると、そのまま静止状態なり、しばらくすると録画リストに戻ります。
⇒再生が始まったとき、画面の下に再生バーが表示されます。

■ 再生バーを見る

録画した番組再生中に以下の操作をします。

- 1 録画した番組の再生中に【画面表示】を押します。
⇒再生バーが表示されます。

再生バー(画面の下に表示)



- 2 表示を消すには、もう一度【画面表示】を押します。
※再生バーの表示は5秒後に消えます。

再生動作状態の表示

アイコン	意味	アイコン	意味
▶	再生中	▶▶8	8倍速で早送り中
	一時停止中	▶▶16	16倍速で早送り中
■	停止	◀◀2	2倍速で早戻し中
▶▶1.3	早見早聞再生中 (音声付き)	◀◀4	4倍速で早戻し中
▶▶2	2倍速で早送り中	◀◀8	8倍速で早戻し中
▶▶4	4倍速で早送り中	◀◀16	16倍速で早戻し中

3 再生を停止させるには、【停止】を押します。

- 録画リストを閉じるときは、【戻る】を押します。

※再生中は「各種設定」メニューの操作はできません。
※再生中は番組表など一部の操作をすることができません。
※録画中はビデオやHDMIなど外部入力への切替はできません。

ご注意

- 本機で録画した番組は、本機でのみ再生できます。他のテレビ(同じ形式のテレビも含む)では再生できません。
- 電源を入れた直後はUSBハードディスクの認識に時間がかかることがあり、すぐに録画リストが表示されない場合があります。その場合は、しばらく待ってから再度録画リストを開いてください。
- USBハードディスクに録画した番組の再生には、本機やUSBハードディスクの電源を切ったり(停電等も含む)、USBケーブルを抜き指したりすると、故障の原因となります。また、USBハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるとき、本機の動作が不安定になる場合があります。

再生について

■ 続きから再生する⇨レジューム再生

- 1 ▲▼で再生する番組を選び、【決定】を押します。
⇒前回、再生を途中で停止した場合、続きから再生されます。

■ 番組の冒頭から再生する⇨頭出し再生

- 1 ▲▼で再生する番組を選び、【青】(頭出し再生)を押します。

■ 録画中の番組を再生する⇨追っかけ再生

- ⇒録画が終了するまで待たずに、録画中の番組の冒頭から再生します。
- 1 ▲▼で録画中の番組を選び、【決定】を押します。

※早見早聞再生では通常の1.3倍速で再生され音声付で視聴できます。
※録画中の番組は録画リストより視聴することができます。また、1.3倍の速度で早見早聞再生することもできます。早見早聞再生の場合、録画中の30秒前まで達すると自動で通常の速度に戻ります。

録画した番組を再生する(つづき)

再生時のリモコン操作

下記の各操作ができます。

ボタン	内容
再生一時停止 	再生中に一時停止と再生を切り換えます。早戻し/早送り状態から通常再生に戻ります。
停止 	再生を停止します。録画リストに戻ります。
早戻し 	押すたびにX2→X4→X8→X16倍速で早戻し再生ができます。
早送り 	押すたびにX1.3→X2→X4→X8→X16倍速で早送り再生ができます。(※X1.3のみ音声が出ます。)
前へ 	前の録画データを再生します。
次へ 	次の録画データを再生します。

- ※早戻し早送り中に音声は再生されません。
- ※再生中に番組先頭まで巻戻すと再生再開されます。
- ※再生中に番組を最後まで早送りすると「録画リスト」の画面に戻ります。
- ※再生中に【停止】ボタンまたは番組を最後まで再生すると「録画リスト」の画面に戻ります。
- ※「録画リスト」画面から通常のテレビ視聴画面に戻る場合には【戻る】ボタンを押してください。

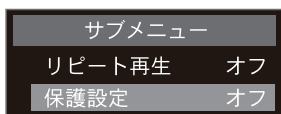
録画した番組を保護する

録画した番組を誤って削除しないように保護することができます。

※録画中にこの操作はできません。

- 1 【録画リスト】を押します。
⇒録画リストが表示されます。
- 2 録画リストから▲▼で設定する番組を選びます。
- 3 【メニュー】を押し、サブメニューが表示されます。

- 4 ▲▼で「保護設定」を選び、【決定】を押します。



- 5 ▲▼で「オン」を選び、【決定】を押します。



- 選択した番組が保護されます。
- これで設定完了です、タイトルの右側に🔒アイコン表示されます。
- 保護されている録画番組を消すには、保護されている番組を選択してサブメニューを表示させると、「保護設定」⇒「オフ」設定ができます。

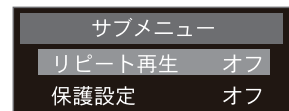
繰返し再生の設定を変える

録画した番組の繰返し再生(リPEAT再生)を設定することができます。

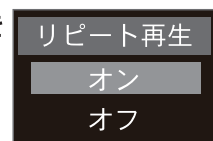
- 設定した状態は本機に記憶されます。
- 選択した一つの番組の再生を繰返します。

- 1 【録画リスト】を押します。
⇒録画リストが表示されます。
- 2 録画リストから▲▼で設定する番組を選びます。
- 3 【メニュー】を押し、サブメニューが表示されます。

- 4 ▲▼で「リPEAT再生」を選び、【決定】を押します。



- 5 ▲▼で「オン」を選び、【決定】を押します。

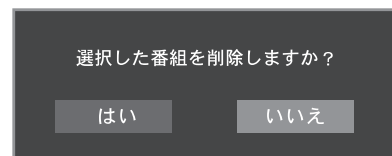


- 録画中の番組はリPEAT再生ができません。
- これで設定完了です、タイトルの右側に🔄アイコン表示されます。
- 選択した番組がリPEAT再生されます。

録画した番組を削除する

見終わった録画番組などを消す場合は、以下の操作をします。

- 1 【録画リスト】を押します。
⇒録画リストが表示されます。
- 2 削除する番組を▲▼で選び、【赤】(削除)を押します。
- 3 削除メッセージ画面で、◀▶で「はい」を選び、【決定】を押します。



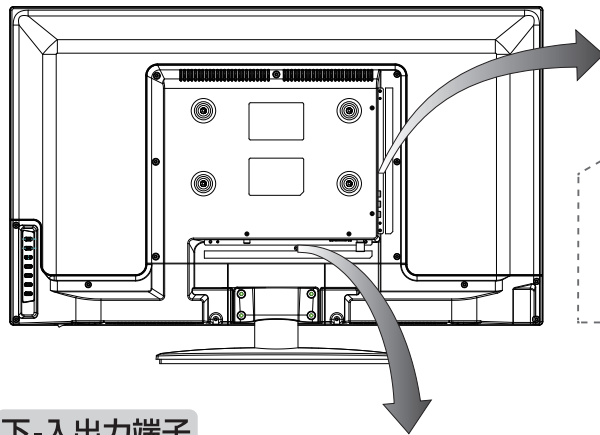
- 録画中の番組は削除ができません。

外部機器と接続

接続のしかた

●本機に接続できる主な外部機器は以下のとおりです。

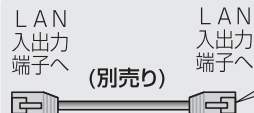
背面



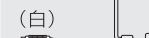
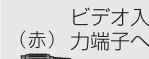
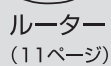
側-入出力端子



接続できるケーブル種類



LANケーブル
でつなぐ



ビデオケーブルでつなぐ

ビデオ/DVDレコーダー/
ゲームなどのAV出力端子
付き外部機器

下-入出力端子



HDMI
入力端子へ
(別売り)

HDMI
出力端子へ

USB
入出力
端子へ
(別売り)

USB
入出力
端子へ

接続できるケーブル種類

HDMIケーブルでつなぐ (35ページ)



USBケーブルでつなぐ
(15ページ)



お知らせ

- 本機には外部機器接続に必要なケーブルは付属しておりません。ご使用環境に合わせて必要な市販品を別途お買い求めください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 接続の際は、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プラグは奥まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全だと、ノイズが発生する原因となります。

※上記記載されているすべての外部機器と本機の組み合わせで動作を保証するものではありません。

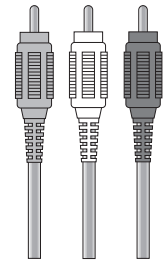
※外部入力画面切換について詳しくは19ページをご覧ください。

接続方法映像画質の違いについて



高画質

HDMI



標準

映像(AV)

DVD プレーヤーやビデオカメラ、ゲーム機などのAV 機器を接続して、本機で楽しむことができます。高精細、高画質に対応した出力端子に接続するとよりきれいな映像が楽しめます。接続する機器の出力端子に応じて、最適な映像端子をお選びください。

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約再生

外部機器と接続

設定と調整

その他

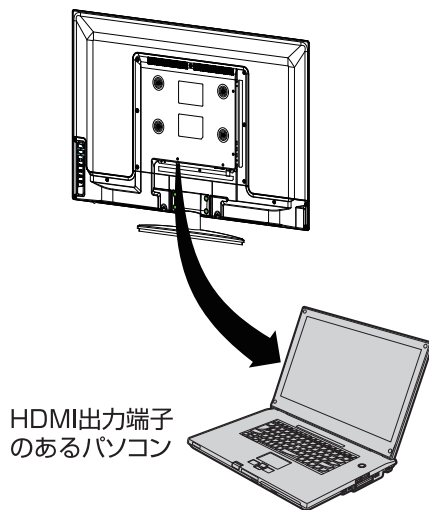
外部機器と接続(つづき)

HDMIケーブルで接続する

- HDMI端子のあるブルーレイ/DVDプレーヤー、ケーブルTVや衛星放送のセットトップボックスなどを本機に接続することで、HDMIケーブルを1本接続するだけで、デジタル信号のまま映像信号と音声信号を入力することができます。
- HDMI端子付機器との接続は、HDMI認証済みのケーブルをご利用ください。
- HDMI機器との相性により音声が出ない場合があります。
- 当製品のHDMIバージョンは「1.3」です。HDMIの標準技術規格に対応した機器をお使いください。
- 当製品のHDMIバージョンは「1.3」です。機器間のリンク機能には対応していません。

パソコンを接続する

- 本機にHDMI端子のあるパソコンを接続して、本機の液晶画面をパソコンのモニターとして使うことができます。
- HDMI-DVI変換ケーブルを使えば、DVI出力端子付のパソコンを接続することもできます。
- 外部モニターで表示できるようにパソコンを設定してください。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。



ご注意

- 接続するパソコンの取扱説明書もご覧ください。
- 対応出力フォーマットは、接続するパソコンの仕様をご確認ください。
- Dot by Dotには対応していません。適正解像度でも若干にじんだ表示になる場合があります。
- パソコンの画面設定(解像度、周波数)は、パソコンを接続する前に、取扱説明書の仕様を確認し、表示できる設定に変更してください。
- パソコン接続時の表示設定は、自動調整で最良に近い状態に設定されます。

ビデオ(AVケーブル)で接続する

- 対応している画像の大きさなど(レゾリューション)は「480i」です。合わないものについては視聴できないことがあります。

USBハードディスクを接続する

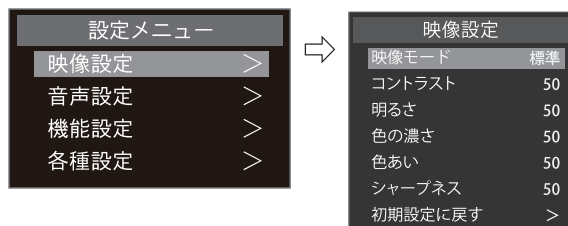
- P26「録画予約について」及び「USBハードディスクについて」をよくお読みになってから接続使用してください。
- 「新しいハードディスクが接続されました」と表示されたら、デジタル設定から各設定を行ってください。
- 取り外す場合には、必ず「設定メニュー」内にあるの『機能設定⇒ハードディスク⇒ディスク取り外し』を実行してから取り外してください。

映像設定

お好みの映像を設定する

現在選択されている入力モード(テレビ、ビデオ、HDMI)の映像を、お好みの画質に調整できます。
 ※お好み調整で設定した調整値は、入力端子ごとに記憶されます。

- 1.【メニュー】を押し、設定メニューが表示されます。
- 2.▲▼で「映像設定」を選び、【決定】を押します。
- 3.▲▼で設定したい項目を選び、【決定】を押します。
 ⇨◀▶で設定値を調整します。
- 4.設定操作完了したら、【戻る】を押して視聴画面に戻ります。



映像設定項目

⇨お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。

設定項目	調整範囲/項目	内 容
映像モード	標準、映画、画像、ゲーム、スポーツ、ユーザー	映像モードを切り換えます。(以下の説明をご覧ください。)
コントラスト	コントラスト 50 暗 ——— ——— 明 設定値を0(暗い)～100(明るい)	設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定値が高いほど明暗の差が強調されます。
明るさ	明るさ 50 暗 ——— ——— 明 設定値を0(暗い)～100(明るい)	お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。
色の濃さ	色の濃さ 50 淡 ——— ——— 濃 設定値を0(淡)～100(濃)	設定値が低いと色が薄く、設定値が高いと色が濃くなります。
色あい	色あい 50 紫 ——— ——— 緑 設定値を0(緑)～100(紫)	設定値が低いと赤っぽく、設定値が高いと緑っぽくなります。(肌の色に注目して、色合いを調整します。)
シャープネス	シャープネス 50 - ——— ——— + 設定値を0(ソフト)～100(シャープ)	設定値が低いほど輪郭がぼやけ、設定値が高いとほど輪郭がくっきり表示されます。(映像の鮮明さを調整します。)
初期設定に戻す	はい、いいえ	調整した項目をお買い上げ時の設定に戻します。

※お好みに合わせて調整をしてください。調整した内容は、「ユーザー」として保存され、映像モードで選択をすることができます。
 ※視聴する映像の種類および「映像設定」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。その場合は薄くなって表示され、項目が選択できません。

映像モード設定項目

⇨あらかじめシーンに合わせた映像設定が用意されています。見る映像の種類に応じて、お好みの映像モードを選ぶことができます。

映像モード	設定項目	内 容
標準 映画 画像 ゲーム スポーツ ユーザー	標準	室内で落ち着いた雰囲気で見るときに適した設定です。くせのない、標準的色合いになります。(日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です)
	映画	落ち着いた色合いで、映画などのファルム映像に適しています。
	画像	画像を見るときに適しています。
	ゲーム	ゲーム機器を接続したときに最適な映像モード。
	スポーツ	スポーツ観戦を楽しむときに最適な映像モードです。
	ユーザー	お好みの映像設定を調整した場合に記憶されます。

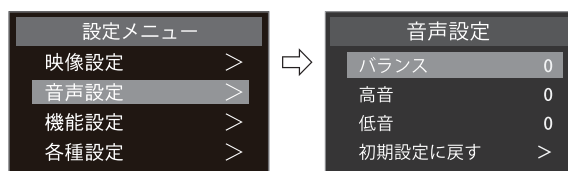
音声設定

お好みの音声を設定する

現在選択されている入力モード(テレビ、ビデオ、HDMI)の音声を、お好みの音質に調整できます。
必要に応じて以下の操作をします。

- ※ お好みに合わせて音質調整をすることができます。
- ※ ヘッドホンをご利用の場合は、音声調整の設定値は反映されません。

- 1.【メニュー】を押し、設定メニューが表示されます。
- 2.▲▼で「音声設定」を選び、【決定】を押します。
- 3.▲▼で設定したい項目を選び、【決定】を押します。
⇨◀▶で設定範囲を調整します。
- 4.設定操作完了したら、【戻る】を押して視聴画面に戻ります。



音声設定項目

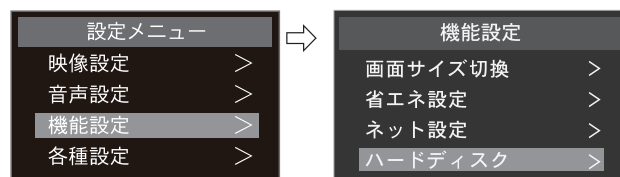
⇨お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。

設定項目	設定範囲/項目	内 容
バランス	 設定範囲：-25(左)~+25(右)	左右スピーカーの音声出力のバランスを調整します。設定値が小さいほど左側を、設定値が大きいほど右側を強調します。
高音	 設定範囲：-6~+6	設定値が小さいほど高音を弱め、設定値が大きいほど高音を強調します。
低音	 設定範囲：-4~+4	設定値が小さいほど低音を弱め、設定値が大きいほど低音を強調します。
初期設定に戻す	はい、いいえ	調整した項目をお買い上げ時の設定に戻します。

機能設定

⇒デジタル放送を見ているときに便利機能を設定する。

- 1.【メニュー】を押すと、設定メニューが表示されます。
- 2.▲▼で「機能設定」を選び、【決定】を押します。
- 3.▲▼で以下設定したい項目を選び、【決定】を押します。
- 4.設定操作完了したら、【戻る】を押して視聴画面に戻ります。

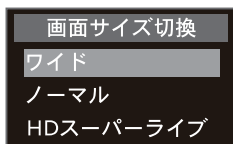


画面サイズ切換

視聴している番組に適した画面サイズを選ぶことができます。

- 1 「機能設定」メニューで「画面サイズ切換」を選び、【決定】を押します。

⇒「画面サイズ」画面が表示されます。



- 2 「画面サイズ切換」メニューで設定したい画面サイズを選び、【決定】を押します。

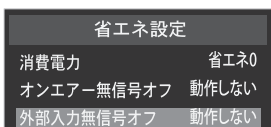
※画面サイズ切換について詳しくは21ページをご覧ください。

省エネ設定

省エネ設定を行います。

- 1 「機能設定」メニューで「省エネ設定」を選び、【決定】を押します。

⇒「省エネ設定」画面が表示されます。



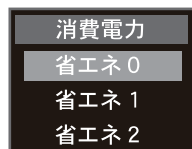
- 2 「省エネ設定」メニューで設定したい項目を選び、【決定】を押します。

設定項目:

消費電力

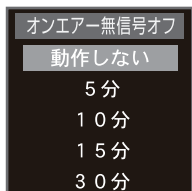
バックライトの明るさを省エネ0(明)～省エネ2(暗)に設定することで消費電力を約5～10%低減することができます。

※消費電力設定について詳しくは21ページをご覧ください。



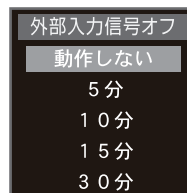
オンエアー無信号オフ

放送受信時に無信号状態が続いた場合、電源を切って待機状態にするか否かを設定します。「動作しない、5分、10分、15分、30分」から選択します。



外部入力無信号オフ

外部入力選択時に無信号状態が続いた場合、電源を切って待機状態にするか否かを設定します。「動作しない、5分、10分、15分、30分」から選択します。



ネット設定

ネット設定ではインターネットの設定を行います。

- 1 「機能設定」メニューで「ネット設定」を選び、【決定】を押します。

⇒「ネット設定」画面が表示されます。



- 2 「ネット設定」メニューで設定したい項目を選び、【決定】を押します。

設定項目: ネット情報表示、有線LAN。

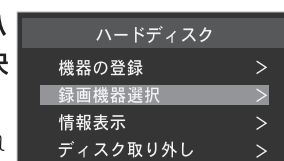
※ネット設定について詳しくは14ページをご覧ください。

ハードディスク

本機にUSBハードディスクを初めて接続するときに、初期化と登録を行います。

- 1 「機能設定」メニューで「ハードディスク」を選び、【決定】を押します。

⇒「ハードディスク」画面が表示されます。



- 2 「ハードディスク」メニューで設定したい項目を選び、【決定】を押します。

設定項目: 機器の登録、録画機器選択、情報表示、ディスク取り外し。

※ハードディスク設定について詳しくは15ページをご覧ください。

各種設定(個人情報)

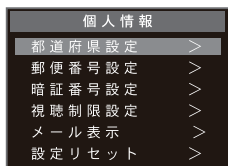
お住まいの地域や暗証番号、視聴制限などの設定を行います。

- 1 [メニュー] を押し、▲▼ で「各種設定」を選択し、[決定] を押します。「各種設定」メニューで「個人情報」を選び、[決定] を押します。



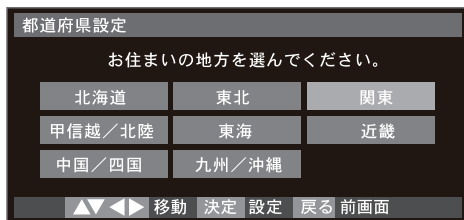
- 2 「個人情報」のメニューから設定したい項目(例:都道府県設定)を選び、[決定] を押します。

⇒「個人情報」画面が表示されます。

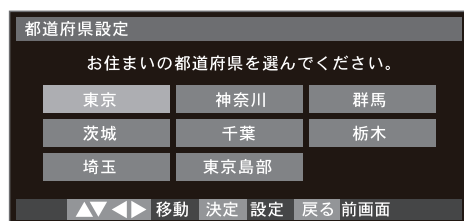


都道府県設定

- 1 「個人情報」のメニューで「都道府県設定」を選び、[決定] を押します。
- 2 お住まいの地方を▲▼◀▶ で選び、[決定] を押します。



- 3 お住まいの都道府県を▲▼◀▶ で選び、[決定] を押します。



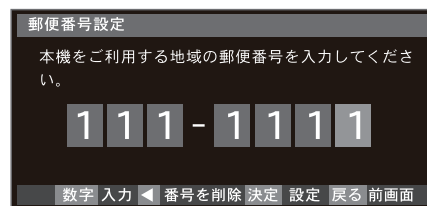
※地上デジタル放送チャンネルを受信するため、地域設定をお住まいの地域に設定します。チャンネル設定の前に、必ず地域設定を行ってください。

郵便番号設定

- 「かんたん設定」で設定した状態から変更したいときに操作します。
- お住まいの地域に応じたデータ放送、緊急警報放送などを受信するための設定で、地域は「初期スキャン」とは別に設定できます。

- 1 「個人情報」のメニューで「郵便番号設定」を選び、[決定] を押します。

- 2 お住まいの地域の郵便番号を[1~10/0]で入力し、[決定] を押します。



※設定された地域に関する気象情報、ニュース、地震津波警報、その他文字情報などのデータ放送情報がご覧になれます。

暗証番号設定

暗証番号は、視聴年齢制限のある番組を見たりするときが必要です。暗証番号を設定した場合には、暗証番号の変更・削除および「設定リセット」をするときにも暗証番号の入力が必要になります。

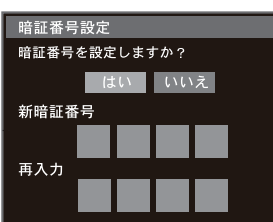
- 1 「個人情報」のメニューで「暗証番号設定」を選び、[決定] を押します。

⇒暗証番号の入力画面が表示されます。

- 2 暗証番号を変更する場合は、変更前の暗証番号を[1~10/0]で入力します。



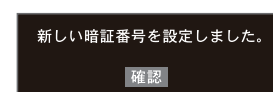
- 3 暗証番号設定の表示画面で、◀▶で「はい」を選び、[決定] を押します。



- 4 [1~10/0]で登録したい暗証番号を入力し、もう一度再入力の枠に同じ番号を入力します。

- 間違えて入力した場合は、◀を押し、もう一度入力してください。
※入力した数字は画面には「*」で表示されます。

- 5 [決定] を押して設定を完了します。



- ※ご購入時、本機には暗証番号が設定されていません。初めて設定する場合には、直接暗証番号を入力して設定します。
- ※設定した暗証番号は忘れないようにメモに取って保存してください。
- ※設定した暗証番号を変更したい場合、既存の暗証番号を入力して再度設定しなおしてください。
- ※暗証番号を忘れた場合、本体を初期化してから再度暗証番号を設定してください。

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約再生

外部機器と接続

設定と調整

その他

各種設定(個人情報)つづき

視聴制限設定

デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには設定が必要です。

- お買い上げ時には、番組の視聴制限は設定されていません。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定してください。

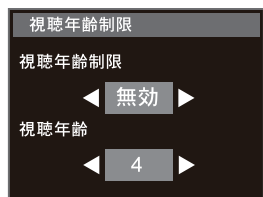
1 「個人情報」のメニューで「視聴制限設定」を選び、【決定】を押します。

⇒暗証番号の入力画面が表示されます。

2 [1~10/0]で暗証番号を入力します。



3 視聴年齢制限の表示画面で「有効」または「無効」を◀▶で選び、【決定】を押します。



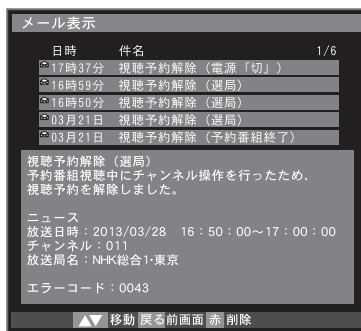
- 設定しない場合、視聴年齢制限を無効に設定します。

4 ◀▶で制限視聴年齢を設定します。「4~19」才まで設定できます。【決定】を押して設定を終了します。

メール表示

メールには、放送局からのお知らせや、製品動作エラーの情報などがあります。

1 「個人情報」のメニューで「メール表示」を選び、【決定】を押します。



2 ▲▼で見たいメールを選びます。

- 削除するメールを▲▼で選び、【赤】(削除)を押します。

※メールは最大14件まで保存できます。14件を超えるメールは、自動的に古いものから順に削除され、新しいメールが追加されます。

設定リセット

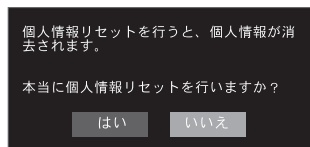
すでに設定されている都道府県、郵便番号等の個人情報の設定をリセットします。

1 「個人情報」のメニューで「設定リセット」を選び、【決定】を押します。

2 [1~10/0]で暗証番号を入力します。



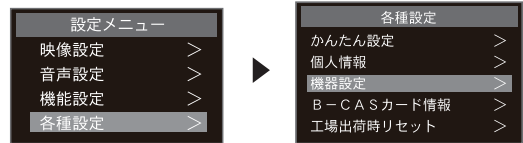
3 ◀▶で「はい」を選び、【決定】を押します。



各種設定(機器設定)

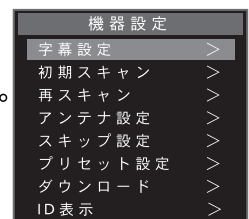
字幕表示、受信チャンネル、ソフトウェアのダウンロードなど、機器に関する設定を行います。また、機器のID情報を確認することができます。

1 【メニュー】を押し、▲▼で「各種設定」を選択し、【決定】を押します。「各種設定」のメニューで「機器設定」を選び、【決定】を押します。



2 「機器設定」の表示画面で設定したい項目を選び、【決定】を押し、各種設定を行います。

⇒「機器設定」画面が表示されます。



字幕設定

- 地上デジタル放送に付加して送られてくる字幕・文字スーパーの表示方法を設定します。
- 字幕:放送されている映像・音声と同期した字幕サービス(訳字字幕など)
- 文字スーパー:放送されている映像・音声と同期していない字幕サービス(ニュース速報、編成ことわり、時報など)

1 「機器設定」の表示画面で「字幕設定」を選び、【決定】を押します。



⇒▲▼で設定項目を選びます。

2 ◀▶で字幕表示の「する」あるいは「しない」を選び、【決定】を押します。

3 ◀▶で字幕言語の「第一言語」あるいは「第二言語」を選び、【決定】ボタンを押します。

4 ◀▶で文字スーパー表示の「する」あるいは「しない」を選び、【決定】を押します。

5 ◀▶で文字スーパー言語の「第一言語」あるいは「第二言語」を選び、【決定】を押します。

※字幕表示と第二言語がある番組のみ設定できます。

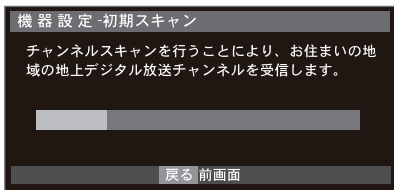
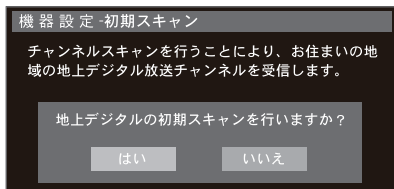
※デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害発生時、緊急文字情報が得られます。

※複数の言語の文字スーパーに対応した番組では表示する言語を選択することが出来ます。

初期スキャン

チャンネルスキャンを行うことにより、お住まいの地域の地上デジタルの放送チャンネルを受信します。

- 1 「機器設定」の表示画面で「初期スキャン」を選び、**【決定】**を押します。
- 2 ◀▶で「はい」を選択し、**【決定】**を押します。



スキャン中、スキャン度を黄色いバーで表示します。

- 3 **【決定】**ボタンを押して終了します。

リモコン	チャンネル	放送局
[5]	051	テレビ朝日
	052	テレビ朝日
	053	テレビ朝日
[6]	061	TBS 1
	062	TBS 2

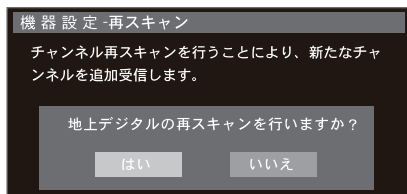
受信出来ない局がある場合は再スキャンをいで下さい。
▲ ページ前 ▼ ページ次 決定 終了 戻る 機器設定

- ※現在受信可能なチャンネルを自動で検索します。
- ※検索後には、リモコンの数字ボタンへ自動でチャンネル(放送波)を割りつけます。
- ※地域設定と違う地域のチャンネルを検索して発見しても、リモコンにチャンネルを割りつけられません。
- ※リモコンボタンの割りつけは、地域設定にて設定した地域内の放送が優先して割りつけられます。地域外の放送を受信する場合には、チャンネル▲▼もしくは、EPG(番組表)から選局が可能です。

再スキャン

すでに登録しているチャンネル以外に、新たにチャンネルを追加する場合に使用します。

- 1 「機器設定」の表示画面で「再スキャン」を選び、**【決定】**を押します。
- 2 ◀▶で『はい』を選択し、**【決定】**を押します。



アンテナ設定

受信レベルは信号品質を表します。高画質番組を楽しむためには、十分な受信レベル(目安60%)を確保する必要があります。

- 1 「機器設定」の表示画面で「アンテナ設定」を選び、**【決定】**を押します。
- 2 ◀▶で「放送チャンネル」を選びます。
⇒◀▶を押すたびに以下のように切り換わります。
VHF1~12 ⇔ UHF13~62 ⇔ MID-13~MID-22⇔SHB-23~SHB-63



地上デジタル放送を受信できるアンテナレベルの目安は、60以上です。

※アンテナ設定について詳しくは13ページをご覧ください。

スキップ設定

現在放送していない、または見たくないチャンネルに対してスキップが設定できます。スキップ設定されたチャンネルは▲▼のチャンネルボタンでチャンネル変更時にスキップされます。

- 1 「機器設定」の表示画面で「スキップ設定」を選び、**【決定】**を押します。
- 2 ▲▼で設定したいチャンネルを選び、**【決定】**を押します。“S”マークが付きます。もう一度**【決定】**を押すと解除できます。設定後**【戻る】**を押して終了します。

リモコン	チャンネル	放送局
S	[5]	051 テレビ朝日
		052 テレビ朝日
		053 テレビ朝日
[6]	061	TBS 1
	062	TBS 2

▲移動 決定 設定/解除 戻る 前画面 青 ページ前 赤 ページ次

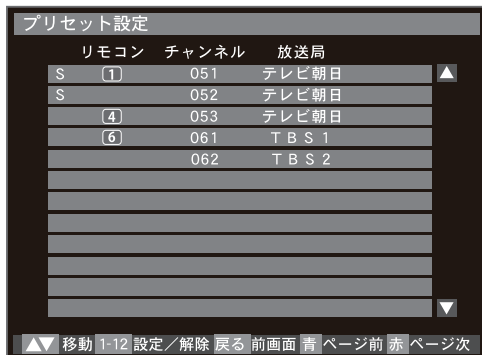
- チャンネル▲▼ボタンで順次選局しても、ここで選択した放送局は表示されずにスキップして次の放送局が選局されて視聴できます。

(機器設定) つづき**プリセット設定**

自動設定されたチャンネルを手動で1～12の数字ボタンにお好みの放送局(チャンネル)を割り当て設定することができます。

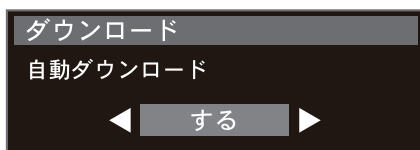
1 「機器設定」の表示画面で「プリセット」を選び、【決定】を押します。

2 ▲▼でチャンネルを選び、【1】～【12】の数字ボタンを選択して押します。再び同じ数字ボタンを入力すると、設定が解除されます。設定後、【戻る】を押して終了します。

**ダウンロード**

自動ダウンロードの設定をします。

1 ◀▶で「する」あるいは「しない」を選び、【決定】を押して設定します。

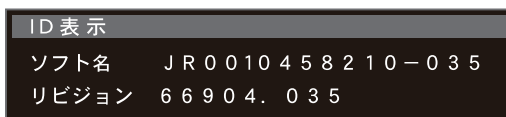
**ダウンロードを行う**

- ※本機は、ソフトウェアのアップデートや機能改善などを行うために、地上デジタル放送電波からソフトウェアをダウンロードし、ソフトウェアを書き換えることができます。
- ※ダウンロードを実行するために、本機の電源プラグをACコンセントに接続してください。
- ※ダウンロードをするための受信レベルの目安は60%以上必要です(受信レベル確認方法は13ページをご参照ください)。
- ※ダウンロードは本機の電源オフ(待機)状態のみで実行されます。
- ※ダウンロードが実施される前にメッセージが表示されます。

ID表示

本体のID情報を表示します。

1 「機器設定」の表示画面で「ID表示」を選び、【決定】を押します。

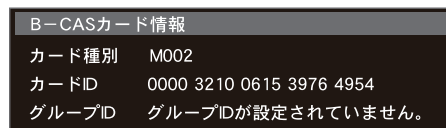
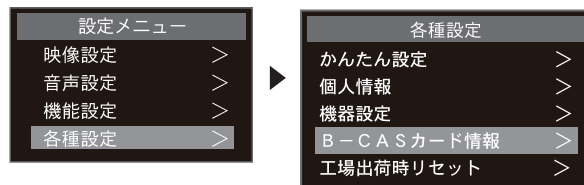


※現在の本機ソフトウェア情報を確認することができます。通常使用しているときは確認をする必要はありません。

(B-CASカード情報)

- B-CASカードの情報を表示します。
- 本機からB-CASカードを取り外さなくても、リモコン操作によってカード番号が確認できます。

1 【メニュー】を押し、▲▼で「各種設定」を選択し、【決定】を押します。▲▼で「B-CASカード情報」を選び、【決定】を押します。



B-CASカード情報を表示します。

B-CASカードが正しく挿入されていない場合.....

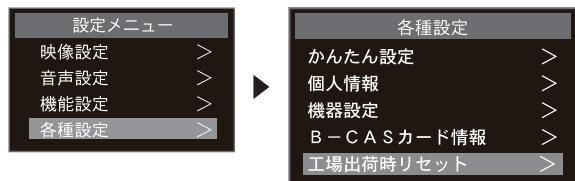
- ※miniB-CASカードは正しく挿入されていますか？
- ⇒10ページの「miniB-CASカードを入れる」をご覧ください。

B-CAS カードを
正しく装着してください。

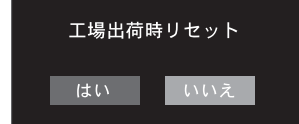
各種設定(工場出荷時リセット)

「工場出荷時リセット」とは、実行することでデジタル設定にて設定した項目や各値(チャンネル設定など)をお買い上げ時の設定(工場出荷状態)に戻すことができます。初期化、初期状態と記載することもあります。

1 【メニュー】を押し、▲▼で「各種設定」を選択し、【決定】を押します。▲▼で「工場出荷時リセット」を選び、【決定】を押します。



2 「はい」を◀▶で選び、【決定】を押します。

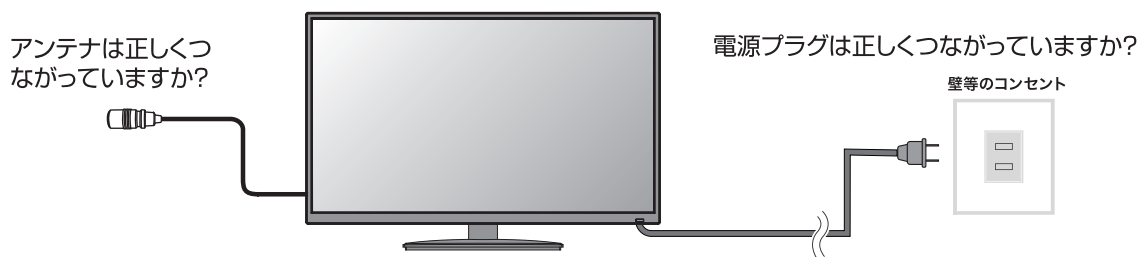


故障かな?!と思ったら

つぎのような場合は故障ではないことがあります。修理をご依頼になる前にもう一度ご確認ください。

まず確認してください

電源が入らなかったり、放送が映らなかったりした場合は、まず以下を確認してください。



こんな場合は故障ではありません

- 液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。
- キャビネットから「ピシッ」というきしみ音がする場合は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。
- 本機は、電源が「待機」のときに番組情報取得などの動作をするため、このときに、内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

このようなときは		ここをお調べください
電源	電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントから抜けていませんか? ●内部処理を行っているために操作への反応が遅い場合があります。 ⇒約1分ほどお待ちになってから再度電源を入れてください。
	急に電源が切れた	<ul style="list-style-type: none"> ●省エネ設定の「外部入力無信号オフ」「オンエアー無信号オフ」が動作するになっていませんか? ●オフタイマーが設定されていませんか? ⇒再度電源を入れ、同じ症状が起こらないか確認してください。
	電源が勝手に入る	<ul style="list-style-type: none"> ●視聴予約を設定していませんか?
リモコン	リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコンの乾電池が消耗していませんか? ●乾電池のプラス/マイナスが逆になっていませんか? ●テレビのリモコン受光部に正しく向けて操作していますか? ●テレビのリモコン受光部に強い照明や直射日光が当たっていませんか? ●リモコンとテレビの間に遮蔽物はありませんか?ある場合は取り除いてください。
	チャンネル▲▼ボタンで特定のチャンネルだけ選局できない	<ul style="list-style-type: none"> ●スキップ設定をしていませんか? ⇒設定内にある「各種設定」→「機器設定」→「スキップ設定」からスキップ設定を解除してください。 ●編成チャンネルを視聴している可能性があります。 数回ボタンを押してください。同じ番組が放送されている場合があります。
テレビを見ているとき	映像も音声も出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナ線が外れていませんか? ●接続されていない入力先などに切り換えられていませんか? ●外部機器の接続ケーブルが外れていませんか? ●P12「かんたん設定」を実行してください。
	映像は出るが、音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●消音状態になっていませんか? 音量が0になっていませんか? ●ヘッドホン端子にヘッドホンなどが接続されていませんか? ●HDMIケーブルなどを映像入力に使用しているときには、音声ケーブルを別に接続しなければならない場合があります。
	ビデオを見ているときに、片側のスピーカーから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●音声に関係する入力端子の接続ケーブルが外れていませんか? ●音声端子がしっかりと挿入されているか確認してください。
	音声に異音が入ったり映像にノイズが出る	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品の近くで携帯電話などの無線機器を使用していませんか? ⇒携帯電話などを離してお使いください。 ●アンテナの向きがずれていませんか? ●受信電波信号が弱い状態ではありませんか?(受信レベルを確認)

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約/再生

外部機器と接続

設定と調整

その他

故障かな?!と思ったら(つづき)

このようなときは	ここをお調べください
映像が悪い	<ul style="list-style-type: none"> • アンテナ接続コネクタが外れていませんか? • アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか? • アンテナが風で壊れたり、曲がったり、向きがずれたりしていませんか? • 近くで落雷や電波障害などが起きていませんか? • 1本のアンテナ線を複数のテレビやレコーダーに接続していませんか? • 近くで電磁波を出す家電製品を使用していませんか? • 映像を正しく調整されていますか? • チャンネルは正しく設定されていますか? • 受信電波信号が弱い状態ではありませんか? • 編成チャンネルを視聴している場合があります。 ⇒チャンネルボタンを数回押す、または他チャンネルへ切り換えてください。 • 地域設定を正しく設定していますか? ⇒お住まいの地域によっては、該当する地域よりも近隣の地域へ変更することで視聴できる場合がありますのでお試しください。 • チャンネルが変更されていませんか? ⇒製品出荷時以降にチャンネルが変更されている(放送局や中継局が増設される等)場合には、チャンネルの再設定が必要な場合があります。
縦線状の妨害が出て見えない	<ul style="list-style-type: none"> • アンテナやアンテナ端子への妨害電波の影響が考えられます。 ⇒地上波放送のアンテナ線の接続には、同軸ケーブル(市販品)をお使いください。 ⇒アンテナの高さや向きを調整すれば、妨害電波をある程度少なくできます。 • 外部機器からの入力映像を見ている場合は、接続や設置場所を確認してください。
色がうすい 色合いが悪い	<ul style="list-style-type: none"> • 地上アナログ放送時に放送されていた番組などの再放送を視聴する場合には、画像が著しく悪く見えることがあります。製品に問題はありません。 • 映像設定は正しく調整されていますか? • チャンネルは正しく設定されていますか? • 各映像端子の接続は確実ですか?
画面が暗い	<ul style="list-style-type: none"> • 省エネモードが「1」や「2」に設定されていませんか? ⇒省エネモードを「0」に設定すると明るくなります。 • 映像モードが変更されていませんか? • 映像の調整は正しいですか? • 映画を視聴する時には暗い画面が見えにくくなる場合があります。
デジタル放送が映らない	<ul style="list-style-type: none"> • mini B-CASカードは正しく挿入されていますか? ⇒mini B-CASカードを正しく挿入しないと、地上デジタル放送は視聴できません。 • mini B-CASカードのIC部分が接触不良(埃、塵、結露、サビ)の場合には何度か挿入し直すと視聴できる場合があります。カードが折れたり、曲げたり、欠けたりすると使用できなくなりますので、丁寧に扱ってください。 • デジタル設定内のmini B-CAS情報にエラーが表示された場合は、P10に記載してある(株)ビーエスコンディショナルアクセスシステムズへ問い合わせください。
地上デジタル放送が受信できない (引越したら、地上デジタル放送が受信できなくなった)	<ul style="list-style-type: none"> • お住まいの地域は、地上デジタル放送の対象エリアですか? • UHFアンテナは、地上デジタル放送の送信施設に向けられていますか? • 地上デジタル放送の有効な放送局/中継局がアナログ放送時から変更されている場合があります。 • お住まいの地域の放送局/中継局を確認してください。 • チャンネルが変更がされた可能性があります。 • 再度「かんたん設定」(チャンネルスキャン)を行ってください。 • 地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをご使用ですか?

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約再生

外部機器と接続

設定と調整

その他

故障かな?!と思ったら(つづき)

このようなときは		ここをお調べください
録 画	USBハードディスクが認識されない	<ul style="list-style-type: none"> 本機に対応したUSBハードディスクですか? ⇒本機で接続確認済みの機器以外では、使用できないことがあります。 ⇒対応している機器については、50ページをご覧ください。 USBハードディスクが正しく接続されていますか? USBハブを経由した場合は正しく動作しないことがあります。 ⇒USBハードディスクを正しく接続してください(15ページ)。 USBハードディスクが本機に登録されていますか? ⇒USBハードディスクを本機に登録してください(15ページ)。
	録画できない	<ul style="list-style-type: none"> USBハードディスクの電源は入っていますか? ⇒電源オンが必要なUSBハードディスクの場合は、電源をオンにしてください。 USBハードディスクの空き容量が不足していませんか? ⇒不要な番組を削除するか。 録画できない映像ではありませんか? ⇒コピー禁止の番組や、独立データ放送、ラジオ放送番組、外部入力からの映像・音声は録画できません。 放送開始時刻が変更されていませんか? ⇒録画予約した番組の放送開始時刻が繰り上げられた場合は録画できません。放送開始時刻が変更になり録画できなかった場合は、「設定メニュー」の「メール表示」で確認できます。
	録画した番組が消えた	<ul style="list-style-type: none"> 消したくない番組を選び、保護設定を「オン」に設定してください。
	録画した番組が再生できない	<ul style="list-style-type: none"> 本機で録画した番組は、本機以外ではご覧になれません。

エラーメッセージ一覧

メール表示での録画関連のエラーのメッセージ

エラー	メッセージ
録画予約中止	システムエラーにより、録画予約の登録に失敗しました。
録画予約中止	システムエラーにより、予約番組の視聴が開始出来ませんでした。
録画予約中止	録画予約チャンネルの選局に失敗しました。
	予約したチャンネルの受信状態が悪い可能性があります。
	受信状態を確認して下さい。
録画予約中止	システムエラーにより、電源が入りませんでした。
録画予約解除(番組情報取得不可)	予約番組情報(番組開始時間、番組放送時間)が取得出来ないため、録画予約を解除しました。
録画予約解除(選局拒否)	録画開始時に「選局しない」を選択したため、録画予約を解除しました。
録画予約解除(選局)	予約番組視聴中にチャンネル操作を行ったため、録画予約を解除しました。
録画予約解除(電源「切」)	予約番組視聴中に電源「切」操作を行ったため、録画予約を解除しました。
録画予約解除(開始時刻変更失敗)	番組開始時刻が変更されましたが、追従出来ませんでした。 変更された時刻に別の録画予約が設定されている可能性があります。
録画予約解除(予約番組終了)	主電源が切れている間に録画予約番組の放送が終了したため、録画予約を解除しました。
録画予約中止	録画予約チャンネルの選局を拒否しました。
	録画予約開始時に機器設定(スキャン、アンテナ設定)を行っていた可能性があります。
録画予約中止(ハードディスク異常)	録画指定のハードディスク登録に失敗しました。 ハードディスクが使用可能なプラグで確認してください。
録画予約中止	ユーザー操作により、予約が取り消されました。
録画予約中止(ハードディスク容量)	ハードディスク容量がいっぱいです。
録画予約中止	録画できる最大タイトル数を超えるため、録画をできません。

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約再生

外部機器と接続

設定と調整

その他

エラーメッセージ一覧(つづき)

● 代表的なエラーメッセージについて説明しています。

メッセージ	対処のしかた
B-CASカードを正しく装着してください。	B-CASカードが挿入されていないときに表示されます。
このB-CASカードはご使用できません。 正しいB-CASカードを装着してください。 エラー番号:EC01	B-CASカードが挿入されていない、または使用できないカードが挿入されています。付属のB-CASカードを正しく入れてください。
このB-CASカードはご使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	B-CASカードが挿入されていない、または使用できないカードが挿入されています。
このB-CASカードはご使用できません。 正しいB-CASカードを装着してください。 エラー番号:EC01	B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。
このB-CASカードではご覧になることができません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。エラー番号:EC02	無効なICカードが挿入されています。有効なB-CASカードを挿入してください。
このカードには必要な情報がありません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	無効なICカードが挿入されています。有効なB-CASカードを挿入してください。
スキャン情報がありません。 各種設定の機器設定より、初期スキャンを実施して下さい。	各種設定より初期スキャンを実行してください。
信号を受信できません。(E202)	アンテナの接続が正しく行われているか確認してください。
現在このチャンネルは放送していません。	放送されていないチャンネルを選局しています。
受信感度が低下しました。 低階層用の音声映像に切替えます。	雨などの影響により、一時的受信レベルが低下しています。しばらくお待ちください。アンテナの接続が正しく行われているかも確認してください。
スキャン情報の更新が必要になりました。 各種設定より初期スキャンを実施して下さい。	各種設定より初期スキャンを実行してください。
指定された3桁番号では選局できませんでした。 番号を確認してください。(E204)	チャンネルが割り当てられていない数字を指定したときに表示されます。
重複している3桁番号が存在します。 枝番号を入力してください。	数字キーで枝番号を追加してください。
このボタンにチャンネルは割り当てられていません。 (E204)	チャンネルが割り当てられていない数字キーを押したときに表示されます。
選局先のサービス情報が無い為、選局できません。	放送チャンネルを選択し直してください。
この番組をご覧いただくには契約・登録が必要です。 詳細はご案内チャンネルの中でご紹介しています。 ご案内チャンネルに切り換えますか?	契約されていないチャンネルを選局しています。

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約再生

外部機器と接続

設定と調整

その他

エラーメッセージ一覧(つづき)

- 代表的なエラーメッセージについて説明しています。

メッセージ	対処のしかた
予約番組が始まろうとしている。予約を実行しますか？ “はい”現在の操作を中断して、予約した操作を始めます。 “いいえ”予約をキャンセルした後、現在の操作を続けます。	すでに予約してある番組が始まる時に、その他の操作をしようとした場合表示されます。
この番組は視聴条件により、ご覧いただけません。	放送チャンネルを選択し直してください。
信号がありません。	アンテナの接続が正しく行われているか確認してください。
形式はサポートされていません。	指定の番組を再生することができないときに表示されます。
ハードディスクが検出されません	USBハードディスクが正しく接続されているか確認してください。
ハードディスクの空き領域が足りません	USBハードディスクの空き領域が少ないため録画ができない状態です。
番組情報(番組開始時間、番組放送時間)が取得出来ないため、録画出来ません。	アンテナの接続が正しく行われているか確認してください。
ファイルへの書き込みが出来ません。	USBハードディスクが正しく接続されているか確認してください。
この番組は録画できません。	録画できない番組です。
録画済み番組数が上限になりました 不要な番組/予約を削除してください。	録画済み番組数が300件を超えたときに表示されます。
このファイルは再生できません。それは、他のテレビ のよって記録されました。	本機で接続確認済みの機器以外では、使用できないことがあります。

その他のメッセージ

テレビシステムの作動中に表示されます。	
受信感度が回復しました。 高階層用の音声映像に切替えます。	視聴予約された番組の開始時間は、 変更されています。
XXXCHで緊急警報放送が始まりました。	録画終了
臨時放送が終了しました。 最後に視聴していたチャンネルに選局します。	録画を中止しました 録画中
引き続きXXXCHで番組を継続します。	録画を開始しました
現在視聴中の番組は引き続きXXXCHで継続されます。	録画実行中は電源プラグを抜かないで ください。
視聴していた番組は引き続きXXXCHで継続されています。	録画準備中。お待ちください。 録画を開始した後に入力を切り替えて ください。
視聴予約された番組が開始されます。	

操作の確認メッセージ
選局しますか？
継続時に自動切替えますか？
切替えて視聴しますか？
録画予約準備中 録画を中止してもよろしいですか？
録画中 録画を中止してもよろしいですか？

※◀▶で「はい」を選び、【決定】を押して設定を確認します。

その他の情報

■ お知らせメールについて

放送局からのお知らせや、ソフトウェアの更新情報や、製品動作エラーの情報などがあった場合には放送メールでお知らせします。
→40ページ「メインメニュー」→「各種設定」→「個人情報」→「メール表示」で確認します。

■ カードエラーについて

本製品はminiB-CASカードを挿入して使用します。miniB-CASカード関連のエラーメッセージが表示されたときは、以下を確認してください。

- miniB-CASカードは正しく挿入されていますか? ⇒10ページ「miniB-CASカードを入れる」をご覧ください。
- カードスロットにホコリがたまっていませんか?
⇒市販のエアダスターなどを使用して、miniB-CASカードスロットを清掃してください。
- miniB-CASカードでないカードを挿入していませんか? ⇒miniB-CASカードを挿入してください。

■ EWS(緊急警報放送)について

地上デジタル放送を視聴中にEWS(緊急警報放送)を受信すると、画面に「緊急警報放送を受信しました」と表示されます。このときに【決定】ボタンを押すと緊急警報放送が視聴できます。このメッセージはチャンネルを変えても表示されます。緊急警報放送を視聴した後、または表示しているメッセージを消す場合は【戻る】ボタンを押してください。

EWS(緊急警報放送)とは:地震津波などの災害発生時に、放送波に特殊な信号を割り込ませることでテレビやラジオなどの受信機から警報音(ピロピロという音)を発し、災害の発生と災害情報をいち早く知らせるための放送です。

人命や財産に重大な影響のある次の3つの場合に限って放送されます。

- 1)大規模地震など災害についての警戒宣言が発せられた場合。
- 2)津波警報が発せられた場合。
- 3)地方自治体の長から、避難命令などの放送の要請があった場合。

本製品は地震や津波などの災害発生時に発信される緊急警報放送の文字スーパー表示に対応しています。緊急警報放送を受信することによる本製品の自動起動には対応しておりません。米軍基地周辺のAFN(米軍放送)の緊急告知放送には対応しておりません。

■ ダウンロードについて

- 本機はソフトウェアのアップデートや機能改善を行う必要がある場合には、地上デジタル放送電波からプログラムをダウンロードしてソフトウェアを書き換えます。
- メッセージがテレビ画面に表示されましたら、ダウンロードを実行するために電源を接続して待機状態にしてください。
- ダウンロードは、本機が電源オフ状態(待機状態)のときのみ実行されます。
- ソフトウェアアップデートのお知らせにある時間の前後30分は待機状態にしておいてください。
- ダウンロードが実施される前にはメッセージが表示されます。

■ 液晶パネルの特徴について

- 液晶パネルは構造上、非常に高精度な技術で作られており99.99%以上の有効画素数を実現していますが、ごくわずかに画面の一部に光らない点(画素欠け)や周囲と異なる色が点灯したままの点(輝点)が存在する場合があります。これは故障ではありませんので予めご了承ください。
- 液晶パネルは長時間同じ画像を表示していると残像(画面焼けの様な症状)が出たり、液晶パネルの寿命を縮めてしまう可能性があります。ご使用にならないときは必ず電源をお切りください。

■ 本製品を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 本製品の譲渡または廃棄の際は、個人情報保護のためにデジタル受信設定などの個人情報の消去を行ってください。
- ゴミ廃棄場で処分されるゴミの中に本製品を捨てないでください。廃棄の際は地方自治体の条例または規則に従ってください。
- miniB-CASカードは破棄せずに(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズまで返却してください。

■ アナログ放送について

- 本機はアナログ放送(地上/衛星/CATV放送)については視聴できません。

■ HDMI連動機能について

- 本機とテレビ等をHDMIで接続することで一部連動動作ができることがありますが、その動作については保証致しかねます。

■ 取扱説明書について

- 記載されている内容は、実際に表示される画面と文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際の画面をご確認ください。
- 記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。

主な仕様

品名	32V型地上デジタル液晶テレビ	
品番	WRH-32T	
電源	AC100V 50/60Hz	
消費電力	40W	
年間消費電力量	63 kWh/年	
省エネルギー区分名	DN	
外形寸法	幅	約731mm
	高さ (スタンド含む)	約490mm
	奥行 (スタンド含む)	約190mm
質量 (スタンド含む)		4.92 kg
液晶 パネル	画面サイズ	32V型 697.69mm(幅)X392.26mm(高さ)
	駆動方法	Transmissive、Normally Black
	画素数	1366 X 768
	応答速度	8ms (Typ. On/Off)
	視野角(標準値)	左右約178° / 上下約178° (Typ.)
	輝度(最大値)	200cd/m ² (Typ.)
	コントラスト比(標準値)	3000 : 1 (Typ.)
音声出力	合計12W (6W+6W) @ 4Ω THD≤10%	
スピーカー	3.6cm X 9.7cm 2個	
受信チャンネル	地上デジタル：UHF (13~62) CATV パススルー方式対応 (C13~C63)	
入力・出力端子	ビデオ入力	映像：1V(p-p)、75Ω、負同期 音声：500mV(rms)、22kΩ以上 (インピーダンス)
	ヘッドホン端子(出力)	ヘッドホン端子口径3.5mmステレオミニジャック、適合インピーダンス8Ω~32Ω
	HDMI入力x2 (DVI)	HDMI Ver. 1.3 準拠 対応入力解像度：480i、480p、720p、1080i、1080P
		DVI-HDMI対応入力解像度：640X480@60Hz、800X600@60Hz、1024X768@60Hz、1360X768@60Hz
	USB入出力	USB 2.0 に準拠 x1 ※録画HDD接続専用端子
LAN入力	RJ-45 (10BASE-T / 100BASE-TX)	
リモコン	DC3V (単4形乾電池、2個)	
キャビネット材質	プラスチック	
角度調整範囲(スタンド)	前:約5° 後:約10° (左右:不可)	
使用条件	周囲温度：0℃~35℃、相対湿度：20%~80% (結露のないこと)	
付属品	スタンドプレート1個、スタンドネック1個、スタンド回転固定シム1枚、スタンド回転シム2枚、BM4x12ネジ4本、BBM4x12ネジ4本、mini B-CASカード1枚、リモコン1個、単4形電池2個(動作確認用)、保証書1枚、取扱説明書1部	

※本製品は双方向番組、番組連動データ放送に対応しておりますので、これらのサービスについてご利用できます。

※本製品は電子番組表 (EPG:約7日分) と字幕・文字スーパー放送に対応しております。

※本製品の保証内容は、保証書に記載されている保証規約に準じています。

※CATV (ケーブルテレビ) を使用される場合は、ケーブルテレビなどの取扱説明書も併せてお読みください。

※付属品の単4形乾電池2本はリモコンの動作確認用です。

※この製品は日本国内専用です。

※HDMIケーブルで外部機器と接続することによって機能する連動/操作機能に対応しておりません。

※本機は、データ放送に対応しております。LANが搭載されていますので、双方向番組サービス、連動データ放送をご利用できます。

※本製品の仕様は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約/再生

外部機器と接続

設定と調整

その他

主な仕様(つづき)

外付けHDD対応機器一覧

下記に記載しているハードディスクは当社で使用を推奨するものです(再生/録画確認済み)。

Buffalo	I/Oデータ	ELECOM	TOSHIBA
HD-LL2.0U3-BKD	AVHD-UT2.0	SGD-EX020UBK	HD-ED20TK
HD-LL2.0U3-BKC	AVHD-AUT2.0		
HD-LC2.0U3-BKD/WHD	AVHD-AUT2.0B		
HD-LC1.0U3-BKC/WHC			
HD-LC2.0U3-BKC/WHC			

※オプションのACアダプターが必要です。

注意事項

- ※ハードディスクに録画する際は、事前に試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。
- ※本機で使用したハードディスクは、本機でのみ再生・録画ができます。
- ※本機で使用したハードディスクを本機以外と接続しても、録画した番組を視聴できません。また、同製品へ録画済みハードディスクを接続しても再生はできません。本機以外へハードディスクを接続すると初期化されて、保存したデータが消去されるおそれがあります。
- ※本機以外で使用していたハードディスクを本機で使用する場合は、P15を参照していただきハードディスクの初期化を行ってください。初期化するとハードディスク内のデータは消去されますのでご注意ください。
- ※上記製品の仕様規格に準ずるハードディスクであれば他社製品であっても使用できますが、正常に使用することができなくても当社は責任を負いません。
- ※本製品の製造後に発表された新しいデータ書き込み速度やデータ転送方法では使用できない場合があります。
- ※本製品の製造後に発売されたハードディスクは使用できない場合があります。
- ※USBにて接続するハードディスクを本製品ではじめてご使用になる場合は、本機へ接続して初期化を行ってから使用してください。
- ※パソコンなどのデータがある場合は消去されてしまうのでご注意ください。
- ※USBフラッシュメモリは使用しないでください。
- ※電源非供給タイプ(バスパワータイプ)のハードディスクは使用できません。
- ※Flash-SSD(ソリッドステートドライブ)は使用しないでください。
- ※電源供給型のハードディスク(標準規格USB2.0HDD)を使用してください。使用時にはHDDに付属している取扱説明書も合わせてご覧ください。
- ※ハードディスクを使用中(アクセス中)に本製品から取り外すと、ハードディスクが破損したり、以降の録画や再生が正常におこなえなくなる事がありますのでご注意ください。
- ※ハードディスクを取り外す場合には設定メニューから「機能設定」⇒「ハードディスク」⇒「ディスク取り外し」を選択してからUSBを抜いてください。
- ※録画した番組を再生すると、映像と音声が多少ズれる場合がありますのでご了承ください。
- ※USBケーブルやハードディスクは信頼のおける高品質な物をお使いください。
本製品で使用できるハードディスク(HDD)は、DVDディスク等と違い半永久的に使用/保存できる記録メディアではありません。録画した記録メディアが物理的に破損したり、内部のデータが損傷することで録画した番組が再生できなくなる可能性があります。ディスクなどへ恒久的に記録しておきたい番組を録画する場合には、複製コピーや移動ムーブができるCPRM対応・レコーダー等の使用をお勧めします。
- ※物理的な衝撃(落下、重量物を本製品にぶつけるなど)を与えないでください。
- ※テレビや棚の上、揺れる場所など不安定な場所で使用しないでください。
- ※分解や変形させないでください。磁気を近づけないでください。
- ※電磁波が出ていると思われる場所の付近で使用しないでください。
- ※高温になる場所(自動車内、直射日光の当たる窓際など)で使用や放置をしないでください。高温になる場所で使用すると故障の原因となりますので、本製品は風通しの良い場所へ設置してお使いください。

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約再生

外部機器と接続

設定と調整

その他

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約再生

外部機器と接続

設定と調整

その他

はじめに

準備と接続

テレビを見る

録画予約再生

外部機器と接続

設定と調整

その他

